

もっと日本を。もっと世界へ。



令和2年度

國學院大學

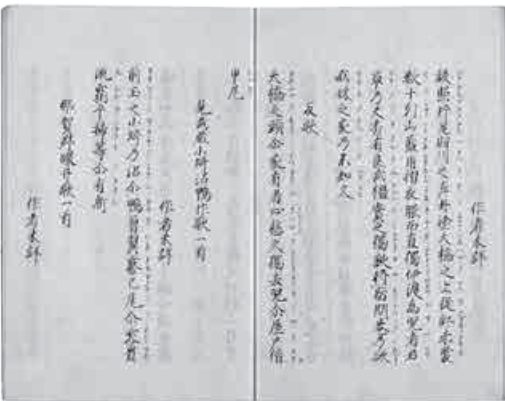
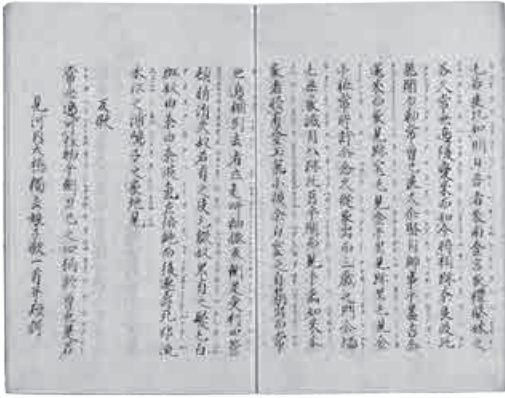
オープンカレッジ

河内の大橋をひとり行く娘子を見る歌一首

併せて短歌

しなでる かたしはがは 片足羽川の さ 丹塗りの おほはし 大橋の
 上ゆ うへ 紅の くれなゐ 赤裳裾引き あかもすそび 山藍もち やまあゐ 摺れる す
 衣着て きぬ ただひとり い渡らす見は こ 若草の
 夫かあるらむ つま 檀の実の かし ひとりか寝らむ ぬ
 問はまくの と 欲しき ほ 我妹が わがも 家の いへ 知らなく

萬葉集 卷九 一七四二



「萬葉集 卷九」

江戸時代前期写本 八雲軒本(國學院大學図書館所蔵)

見^二河内大橋独去娘子^一歌一首 并短歌

しなでる かたしはがは 片足羽川の さ 丹塗りの おほはし 大橋の上 さ 左丹塗
 級照 くれなゐ 片足羽河之 あかもすそび 赤裳数十引
 大橋之上 うへ 従 くれなゐ 紅 あかもすそび 赤裳数十引
 山藍用 やまあゐ 揩衣服而 すれるきぬきて 直独 ただひとり
 伊渡為見者 いわたらしこは 若草乃 わかぐさの 夫香有良武 つまかあるらむ
 檀実之 かしのみの 独歎将^レ宿 ひとりかぬらむ 問卷乃 とはまくの
 欲我妹之 ほしきわがもが 家乃不^レ知久 いへのしらなく
 (しなでる) かたしはがは 片足羽川の さ 朱塗りの おほはし 大橋の上を さ 紅染
 めの あかも 赤裳の裾を引き すそ 山藍で やまあゐ 染めた服を着て つま ただひ
 ひとり こ 渡っているあの児は こ (若草の) わかぐさの 夫があるのだから つま
 か (檀の実の) かしのみの ひとりで寝ているのだからか こ 問い尋ね
 て こ みたいあの児の こ 家も分らないことよ

河内の大橋をひとり行くおとめを見て作った歌一首 と短歌

國學院大學 オープンカレッジへようこそ

國學院大學オープンカレッジは、本学の伝統と実績に基づく学問を、年齢・性別・学歴等を問わず、すべての方々に開放し、人生をより豊かな、充実したものにするための一助となることを願い、平成4年に7講座で産声をあげました。

その後多くの皆様に支えられ、昨年は46講座延べ約2,000名の方々にご受講頂きました。この場をお借りして厚く御礼申し上げます。

29年目となる今年度も本学の得意分野である神道、文学、歴史、書道等の講座を中心とした44講座をご用意いたしました。渋谷キャンパスでは「日本国憲法の日本語文法」、「江戸時代の古文書を読む〈初級〉」、「将軍の日光社参と江戸幕府」の講座を新たな講師を迎え開講いたします。また好評の「神道」、「古事記」、「万葉集」講座も継続いたしますので、ご期待ください。

今後も「國學院大學らしい講座」を追求し、ご受講の皆様の声大切にしながら、オープンカレッジの更なる充実に努めて参ります。

受講者の皆様にとって本学のオープンカレッジが、豊かな生涯学習の場であると同時に、潤いのある日常生活の糧となりますことを、スタッフ一同心から願っております。

國學院大學エクステンションセンター

受講料等改定のお知らせ

令和元年10月1日より、消費税が8%から10%に引き上げられました。本学オープンカレッジは開設されて以来受講料等を据置で参りましたが、これを受け令和2年度より改定致します。詳しくは、各講座の受講料と25ページの会員区分一覧表をご覧ください。

建学の精神

國學院大學設立の背景と経緯

明治維新当時、わが国を欧化万能の風潮が覆い、日本古来の思想・文物が顧みられない状態となった。しかし、そうした世風を憂慮し、維新の達成には国民道德の確立をもって、国家独立の基礎とする必要があるという気運が起こった。

このような気運を背景として、本学の前身である皇典講究所が明治15(1882)年に現在の千代田区飯田橋に創立された。11月4日に行われたその開校式において、初代総裁の有栖川宮幟仁親王が述べられた告諭の中の「凡學問ノ道ハ本ヲ立ツルヨリ大ナルハ莫シ故ニ國體ヲ講明シテ以テ立國ノ基礎ヲ鞏クシ徳性ヲ涵養シテ以テ人生ノ本分ヲ盡スハ百世易フベカラザル典則ナリ」という主旨が本学建学の精神の基底を成す。明治23(1890)年7月、皇典講究所初代所長山田顯義伯爵の公表した「國學院設立趣意書」によって更に拡大・強調された。

この精神が今日まで継承され、國學院大學が神道精神に立脚した道義の大学として、輝かしい伝統と独自の学風を築き上げている。

全講座(44講座)先着順受付

「ハガキ」または「FAX」でお申し込みください。申込締切 3月23日(月)



目次

ページ

國學院大學オープンカレッジのご案内4~5

◆渋谷キャンパス開講講座

N0	講 座 名	講 師	回数	時期	ページ
01	神道を知る講座16 神話と古代の祭祀 -日本書紀1300年-	岡田 莊司	10	通年	6
02	『古事記』を読む	谷口 雅博	10	通年	6
03	万葉集を読む -巻三・四を読み直す-	土佐 秀里	10	通年	7
04	万葉考古学19	杉山 林継	10	通年	7
05	源氏物語講座 -もう一つの『源氏物語』を読む-	豊島 秀範	10	通年	7
06	能と文学15 -古典文学から能へ-	岩崎 雅彦	10	通年	8
07	短歌を読む 詠む -『万葉集』第17~18巻の鑑賞-	豊島 秀範	10	通年	8
08	日本国憲法の日本語文法	中村 幸弘	5	前期	8
09	日本語“どうして”Q&A100 -日本語の歴史と未来を学ぶ-	中村 幸弘	5	後期	9
10	文学の風景 -くそとまこと)のあわい-	岡崎 直也	10	前期	9
11	中国の神話・伝説 -中国古代の人々の心-	松田 稔	10	後期	9
12	『論語』を読む	石本 道明	10	通年	10
13	折口信夫・釋迦空研究18 折口信夫を読み解く	大石 泰夫他	10	前期	10
14	日向の神話と神楽(宮崎県との連携講座)	小川 直之他	5	後期	11
15	民俗伝承学から日本文化を読む(一) -伊勢神宮と出雲大社:「日本」と「天皇」の誕生-	新谷 尚紀	5	前期	11
16	民俗伝承学から日本文化を読む(二) -伊勢神宮と出雲大社:「日本」と「天皇」の誕生-	新谷 尚紀	5	後期	12
17	明智光秀をめぐる人々	矢部健太郎	10	通年	12
18	江戸時代の古文書を読む〈初級〉	根岸 茂夫	5	前期	12
19	将軍の日光社参と江戸幕府	根岸 茂夫	5	後期	13
20	江戸の刑罰(一) -江戸幕府の刑罰制度-	高塩 博	5	前期	13
21	江戸の刑罰(二) -肥後国熊本藩の刑罰制度-	高塩 博	5	後期	13
22	歴史の捉え方 -全国の城・その城を巡る人間模様-	松平 定知	10	通年	14
23	遊べる日本美術6 もっと!遊べる浮世絵 -洒落を味わう・おもちゃ絵を愛でる-	藤澤 紫	10	通年	14

24	世界の中の日本 -新冷戦の行方とアジア情勢-	久保田るり子	10	通年	…	15
25	かなの鑑賞と実作(一) -寸松庵色紙の散らし書きを学ぶ-	名児耶 明	10	前期	…	15
26	かなの鑑賞と実作(二) -仮名の散らし書きの様々を学ぶ-	名児耶 明	10	後期	…	15
27	仮名(一)〈初級〜中級〉 -仮名書道の楽しみ-	橋本 貴朗	10	前期	…	16
28	仮名(二)〈中級〉 -升色紙-	橋本 貴朗	10	後期	…	16
29	仮名(三)〈初級〜中級〉 -美しい仮名を書きたい人のために-	杉浦 妙子	10	前期	…	16
30	仮名(四)〈初級〜中級〉 -美しい仮名を書きたい人のために-	杉浦 妙子	10	後期	…	17
31	漢字(一)行書〈初級〜中級〉 -王羲之「集字聖教序」を習う-	野村ひかり	10	前期	…	17
32	漢字(二)草書〈初級〜中級〉 -王羲之「十七帖」を習う-	野村ひかり	10	後期	…	17
33	漢字(三)楷書〈初級〜中級〉 -点画の基礎と大切な3つのポイントを学ぶ-	小嶋 憲次	10	前期	…	18
34	漢字(四)行書〈初級〜中級〉 -行書の基礎と名筆の臨書を学ぶ-	小嶋 憲次	10	後期	…	18
35	漢字(五)楷書・行書〈初級〜中級〉 -和様漢字 小野道風を習う-	石井 清和	10	前期	…	18
36	漢字(六)楷書・行書〈初級〜中級〉 -和様漢字 小野道風を習う-	石井 清和	10	後期	…	19
37	漢字(七)〈初級〜中級〉 -篆書・隸書・篆刻に親しむ-	横倉 佳男	10	前期	…	19
38	漢字(八)〈初級〜中級〉 -篆書・隸書・篆刻に親しむ-	横倉 佳男	10	後期	…	19

◆たまプラーザキャンパス開講講座

N0	講 座 名	講 師	回数	時期	ページ
39	『古事記』下巻を読む -允恭・安康・雄略-	渡邊 卓	10	通年	… 20
40	源氏物語講読 -「薄雲」「朝顔」の2帖を読む-	林田 孝和	10	通年	… 20
41	松尾芭蕉の紀行文を読む -『笈の小文』・『更科紀行』-	中村 正明	10	通年	… 20
42	『枕草子』と『大鏡』などを併せ読む -中関白家の人々を追う-	中村 幸弘	10	通年	… 21
43	健康と運動の心理学	伊藤 英之	5	前期	… 21

◆オープンカレッジ特別講座 渋谷キャンパス

N0	講 座 名	講 師	回数	時期	ページ
44	共催 一般財団法人冠婚葬祭文化振興財団・互助会保証株式会社 特別講座「死後の世界-死ぬことと生きること-」	石井 研士他	5	通年	… 22

- エクステンションセンターが主催する公開講座のご紹介 …… 23
- 國學院大學博物館のご紹介 …… 23
- 國學院大學萬葉の花の会のご紹介 …… 23
- オープンカレッジ申込方法 …… 24~25
- 「受講申込書」記入例 …… 26
- 「受講申込書」(FAX用)
- 「受講申込書」(ハガキ)

國學院大學オープンカレッジのご案内

入会登録

- オープンカレッジは会員制です。年齢・学歴等に関係なくどなたでも入会できます。
※但し、次の特別講座のみをご受講の方は入会の必要はありません。
「死後の世界 -死ぬことと生きること-」
- 入会金は受講料と共にお振り込みください。令和2年度にご希望の講座がない場合、入会のみの受付もいたします。(9月末迄)

会員証

- 令和2年度より新しくなりました。
- 会員証の有効期限はありません。
- 会員証は、他人に貸したり譲ったりすることはできません。
- 会員証は携帯してください。会員特典利用の際はご提示いただくことがあります。

会員特典

- オープンカレッジのパンフレットを無料でお送りいたします。
- 図書館の閲覧利用ができます(当該年度受講される場合のみ利用可能、貸出はできません)。
会員証と受講許可証を持参の上、図書館で所定の手続きを行ってください。
- エクステンション事業課主催各種講座の案内を無料でお送りいたします。一部受講料割引講座もあります。
- 生協でテキスト・文具等が割引で購入できます。

受講料

- 受講料は各講座内容のページをご確認ください(全日程受講しない場合も同じ金額です)。
- 受講料・入会金は、一括振込のみとし、分納はできません。
- テキスト代は受講料に含まれません。
- 令和2年度國學院大學の学部、大学院、または他大学等に在学の方、若木育成会会員の方は受講料が半額となります。科目等履修生は該当しません。(P25をご参照ください)
- 地域連携協力に関する基本協定に基づき、渋谷区・横浜市青葉区在住の方は、受講料が半額となります。
(P25をご参照ください)

講座

- 講座は全て1年または半年の完結型です。継続講座も毎年独立した講座内容になっています。
- 受講者数が10人に満たない場合は講座を中止することがあります。その際お振り込みいただいた受講料は、本人名義の口座に返金させていただきます。
- 大学および講師の都合等により開講を中止することがあります。
- テキスト等書籍の価格に変更がある場合はご了承ください。テキストは生協書籍売場にて割引販売を行っております。(初回時教室での販売は行いません)
渋谷キャンパス: 3号館地下1階(03-5466-0166) たまプラーザキャンパス1号館地下1階(045-911-7626)

休講

- 講師の急病、事故等、悪天候や災害、交通ストライキ等で休講する場合には、原則として補講を行います。
- 補講の日時・教員は、通常の講座とは異なる場合がありますので予めご了承ください。
- エクステンションセンターからご連絡することがありますので、ご連絡のとりやすい電話番号をお知らせください。

単位・修了

- 特別講座「死後の世界 –死ぬことと生きること–」を除く各講座にはオープンカレッジ独自の単位を設けております。単位数については各講座内容のページをご参照ください。
- 原則として、担当講師が毎回出席をとり、3分の2以上の出席(5回講座の場合3回、10回講座の場合7回)が単位取得の要件となります。エクステンションセンターへの講座欠席連絡は必要ありません。
- 取得した単位は累積され、32単位になった時点でオープンカレッジ修了となり、「國學院大學オープンカレッジ修了証」を授与いたします。なお、修了後も継続してご受講いただけます。

受講のキャンセル

- 受講申込後、やむを得ず受講を取り消す場合は、速やかにエクステンションセンターまでご連絡ください。
- 受講料等納付後、ご本人のご都合で受講をキャンセルする場合、納入された受講料等はお返しできませんので、予めご了承ください。

注意事項

- 申込締切日以降でも、人数に余裕がある講座は、開講初日の10日前まで申し込み受けをいたします。詳細はエクステンションセンターまでお問合せください。
- 「受講申込書」にご記入いただいた住所等に変更があった場合は、速やかにご連絡ください。
- 大学構内は全面禁煙のため、指定場所以外での喫煙はできません。
- 駐車場がありませんので、自動車、バイク、自転車でのご来校はできません。
- 身の回りの品にご注意ください。特に貴重品は席を離れる際には必ず身に付けてください。
- 講師や他の受講者、または本学に対し迷惑となる行為があった場合は、受講をお断りすることがあります(教室からの退出やオープンカレッジ退会をお願いすることがあります)。

●紹介制度について

オープンカレッジ現会員の方が新規の受講者をご紹介いただき、紹介を受けた方が受講された場合は紹介して下さった会員の方に本学の図書カード(500円分)を差し上げます。
この機会にどうぞお知り合い、ご友人をご紹介ください。

オープンカレッジにかかわるお問合せ先

國學院大學エクステンションセンター

(受付時間 月～土曜日9時～17時 除く祝日・大学行事日)

〒150-8440 東京都渋谷区東4-10-28 電話 03-5466-0270 FAX 03-5466-0394

URL <http://www.kokugakuin.ac.jp> e-mail jigyoku@kokugakuin.ac.jp

個人情報の取り扱いについて

國學院大學では、「個人情報の保護に関する法律」を遵守し、個人情報の適正な取扱いに努めています。オープンカレッジ受講申し込みにあたって、お知らせいただいた氏名、住所その他の個人情報は、國學院大學エクステンションセンター(エクステンション事業課)におきまして、①受講手続、②オープンカレッジ受講に関する管理、連絡および手続、③オープンカレッジ開催施設・設備利用に関する管理、連絡および手続、④受講者本人に送付する各種書類の発送およびその他の連絡、⑤当センターが行っている各種講座案内と、これに付随する事項を行うために利用します。

上記は、その一部の業務を國學院大學エクステンションセンターより当該業務の委託を受けた業者(以下、「受託業者」といいます)において行います。業務委託にあたり、委託業者に対して、受託した業務を遂行するために必要となる限度で、お知らせいただいた個人情報の全部または一部を提供することがあります。

國學院大學エクステンションセンター(エクステンション事業課)は、個人情報は原則として第三者に開示いたしません。ただし、法律上開示をすべき業務を負う場合や、受講者本人または第三者の生命/身体/財産その他の権利利益などを保護するために必要であると判断できる場合、その他緊急の必要があり個別の承諾を得ることができない場合には、例外的に本人または第三者の個人情報を開示することがあります。予めご了承ください。

01 神道を知る講座16 神話と古代の祭祀

—日本書紀1300年—

水曜日
10:30~12:00

講師



國學院大學名誉教授
大学院客員教授・
博士(歴史学)

おかだ しゅうじ
岡田 莊司

専門分野 宮中祭祀儀礼・
日本神道史

講座内容

即位の礼・大嘗祭が恙無く斎行され令和の御代がはじまりました。気持ちも新たに「神道を知る講座」は第16年目を迎えます。今年は東京オリンピック・パラリンピックの年、そして、もう一つ、日本書紀1300年にあたります。

日本書紀の神話と神道・神社の歴史とは、深い関係を保ってきました。神道と神社が古代から現代まで脈々と受け継がれてきた理由は、日本書紀・古事記など、古典籍が書写・継承されてきたからです。

本年度は日本書紀1300年を機に、日本書紀神話の成立と古代祭祀との関係を明らかにし、日本人の信仰世界の根本義について解説していきます。

昨年度まで15回継続してきた講座を基礎に、さらに発展させていく内容を企画しておりますが、はじめての受講者にも対応できるように準備しておりますので、初心者の方も、どうぞご遠慮なくご参加ください。

本年度は、ご創建150年を迎える横浜市・伊勢山皇大神宮へ正式参拝を予定しています。

第1回	日本書紀神話の構造
第2回	神話から歴史へ—神武天皇・崇神天皇紀—
第3回	律令祭祀と神々の出雲・大和の東西軸
第4回	天照大神と伊勢神宮祭祀
第5回	素戔鳴尊神話と大祓
第6回	八十嶋祭と住吉大社
第7回	天神地祇祭祀と四方拝の源流
第8回	祈年祭と天津神・国津神
第9回	神話のなかの新嘗祭祀
第10回	大己貴信仰の伝播・発展

4月	15日
5月	13日、27日
6月	10日、24日
7月	8日
10月	7日、21日
11月	11日、25日

■単位数 2単位
■受講料 22,000円

締切日前に定員に達することがございます



テキスト 資料を配付します



参考書 『事典 古代の祭祀と年中行事』 岡田莊司編 吉川弘文館、令和元年 3,800円(本体価格)

02 『古事記』を読む

土曜日
10:30~12:00

講師



國學院大學
教授・博士(文学)

たにぐち まさひろ
谷口 雅博

専門分野 日本上代文学
(古事記・日本書紀・
万葉集・風土記)

講座内容

この講座では平成26年より『古事記』上巻の冒頭、天地初発の神話から読み進めて来ました。7年目になる今年は、上巻も終わりに近い海幸山幸の神話から読み進めます。神々の時代から天皇の時代へと推移していくところですので、上巻の終わりの方では人の世の物語としての要素も含まれてきますし、中巻の始まりの部分ではまだまだ神話としての雰囲気の色濃く漂っています。海幸山幸神話では、弟の山幸に何度も頼まれて仕方なく貸した大事な釣針を紛失されてしまい、強く返却を求めるといふ、至極当然の要求をした海幸が、なぜ攻め苦しめられることになるのか、考えます。山幸はその後、海の神の娘と結婚し、子ども誕生しますが、妻の出産直後に別れることになってしまいます。異類婚姻譚として描かれたこの神話の意味するところは何か、などを考えながら、読み進めて行きたいと思えます。

4月	25日
5月	9日、16日、30日
6月	13日、27日
7月	11日
10月	10日、24日
11月	7日

■単位数 2単位
■受講料 22,000円



テキスト 『新版 古事記(現代語訳付き)』 中村啓信訳注 角川ソフィア文庫 1,160円(本体価格)

03

万葉集を読む 一巻三・四を読み直すー

木曜日

10:30~12:00

講師



國學院大學
教授
とさ ひでさと
土佐 秀里

専門分野 上代文学

講座内容

今年、万葉集巻三の後半から読んでゆきます。巻三の挽歌を中心に読み進め、巻四相聞の最初あたりまで読みたいと考えています。巻三挽歌には、聖徳太子の歌や、大津皇子の辞世歌、大伴旅人・大伴家持父子の亡妻挽歌など、なかなかバラエティに富んだ歌があります。それぞれの歌人像に迫りながら、歌の歴史的背景などを明らかにしてゆきたいと思います。なお以下の予定は一応の目安で、変わる可能性があることをご承知おきください。

- | | |
|---------------------------|-----------------------------|
| 第1回 仙柘枝の歌・旅の歌(381~394) | 第6回 旅人への挽歌・尼理願への挽歌(454~461) |
| 第2回 譬喩歌(395~414) | 第7回 家持の亡妻挽歌(462~474) |
| 第3回 聖徳太子・大津皇子の歌(415~425) | 第8回 安積皇子挽歌(475~483) |
| 第4回 旅の挽歌・手児奈の歌(426~440) | 第9回 岡本天皇の歌・額田王の歌(484~489) |
| 第5回 部下への挽歌・妻への挽歌(441~453) | 第10回 人麻呂の相聞(490~504) |

4月	16日
5月	14日、28日
6月	11日、25日
7月	9日
10月	8日、22日
11月	12日、26日

■単位数 2単位
■受講料 22,000円



テキスト 「補訂版 万葉集本文篇」 佐竹昭広・木下正俊・小島憲之著 塙書房 2,100円(本体価格)

04

万葉考古学19

水曜日

12:50~14:20

講師



國學院大學
名誉教授・博士(歴史学)
すぎやま しげつぐ
杉山 林継

専門分野 考古学・神道学・
祭祀考古学

講座内容

万葉集4500首の歌には飛鳥奈良時代を中心とした、天皇から防人・農民に至るまでの人々の心が歌われている。そこには手に触れたもの、目にした情景がある。古代の人々の心を動かしたこれらの景色・環境や文物は、記紀等の数少ない文献との対比ばかりではなく、近年の木簡資料を始め考古学の成果を利用して復原しなければならない。逆に考古学にとっても遺跡遺物を解釈するとき、この4500首は宝庫である。遺跡遺物を有機的に見る目をこれらの歌から学ぶことが必要と言えよう。この万葉集の時代は大陸から新しい文化を大規模に取り入れた時代でもあり、それ以前の固有文化とのせめぎあいの時とも言える。

平成13年度に巻1巻頭の雄略天皇の歌からはじめて、平成23年度第10回4516家持の因幡国府での歌まで100回100テーマで話してきた。24年度以降、前記100回のうちからと、新しいものも入れて話している。今年度は便所、三輪山、石上、須恵の珠名、興・墓標などを話したい。

歌の心を知るためにも考古学からのアプローチをお勧めする。

4月	22日
5月	20日
6月	3日、24日
7月	1日
9月	30日
10月	14日
11月	11日、18日
12月	2日

■単位数 2単位
■受講料 22,000円



資料を配付します

05

源氏物語講座 ーもう一つの『源氏物語』を読むー

金曜日

12:50~14:20

講師



國學院大學
名誉教授・博士(文学)
とよしま ひでのり
豊島 秀範

専門分野 平安朝文学・
中世王朝文学

講座内容

元号<令和>と共に始めた〔源氏物語講座〕です。2年目を迎えました。昨年は桐壺巻を読み進めましたが、この講座の目的と特色は、以下の3点です。

①〔『源氏物語』全巻の読破をめざす〕。54巻に及ぶ長編ですが、全体を読むことで初めて『源氏物語』が理解できます。そのため、必要な画像資料を参考にしつつ、スピードをもって読み進めていきます。『源氏物語』は初めてという方も、すでに読みこんでいる方々も、これを機会に、改めて初めから読み進め、読み切ってみましょう。

②〔もう1つの『源氏物語』を読む〕。『源氏物語』の殆どのテキストは〔青表紙本〕に拠っていますが、『源氏物語』には〔河内本〕という大切な本文もあります。そこで、〔河内本〕の本文と比較することで、書写することで変化する物語内容の実態を考えながら進めます。変体仮名などに関心のある方は、ぜひ参加してチャレンジして下さい。

③〔『源氏物語』の現代語訳と比べよう〕。『源氏物語』には多くの現代語訳があります。ここでは〔谷崎潤一郎〕の新々訳を取り上げて、原文と比較しながら読み進めます。以上の講座内容に関心のある方は、積極的に参加して、新たな発見をして下さい。

4月	17日
5月	15日、29日
6月	5日、19日
7月	3日
10月	2日、16日
11月	6日、20日

■単位数 2単位
■受講料 22,000円



テキストはコピーで対応します。なお、各自が所持している『源氏物語』を用意してください。



参考書 特定せず。各自お手持ちの参考書をご持参ください。

06

能と文学15 - 古典文学から能へ -

木曜日
14:30~16:00

講師



國學院大學
兼任講師・博士(文学)
いわさき まさひこ
岩崎 雅彦

専門分野 能・狂言

講座内容

室町時代に大成された我が国最古の演劇である能は、『源氏物語』『平家物語』など、多くの古典文学を素材として作られている。本講座では昨年度に引き続き、能の作品と、その素材となった文学作品を合わせて読んで行く。両者を読み比べることにより、能の作者たちが原典をどう解釈し、演劇としてどう脚色しているかを考えてみたい。各回の内容は以下の通り。

- | | |
|------------|-------------|
| 第1回 能「半部」 | 第6回 能「三山」 |
| 第2回 『源氏物語』 | 第7回 能「昭君」 |
| 第3回 能「蟬丸」 | 第8回 能「大仏供養」 |
| 第4回 能「鶴飼」 | 第9回 幸若舞「景清」 |
| 第5回 能「羅生門」 | 第10回 能「三井寺」 |

なお、希望者を対象に、能・狂言の鑑賞を予定している。

4月	23日
5月	14日、28日
6月	11日、25日
9月	24日
10月	8日、22日
11月	12日、26日

■単位数 2単位
■受講料 22,000円

テキスト 資料を配付します

07

短歌を読む 詠む - 『万葉集』第17~18巻の鑑賞 -

木曜日
14:30~16:00

講師



國學院大學
名誉教授・博士(文学)
とよしま ひでのり
豊島 秀範

専門分野 平安朝文学・中世王朝文学

講座内容

- ①【短歌を読む】では、今年度は『万葉集』第17~18巻を取り上げます。釈迺空(折口信夫)の6冊の歌集を6年間を要して読み終えた後、『万葉集』に挑戦して9年目を迎えます。最古の和歌集『万葉集』から元号(令和)が選ばれました。日本の書物から元号が選ばれたのは初めてで画期的なこと。その『万葉集』の作歌意図はどこにあるのか、1200年前の表現が現在の我々の心にどのように響くのか、などについて率直に話し合うことで、【短歌を詠む】へとつなげていきたいと思えます。
- ②【短歌を詠む】においては、今年度も、毎回3首の短歌を提出し、各自が良いと思う歌を選び、鑑賞し合うことで、歌を作る力を養うことを目指します。そして、年度末には、過去14年間と同じく、1人30首ずつ詠んだ作品を、1冊の作品集(第15冊目)としてまとめる予定です。これまでのさまざまな体験を、短歌という形で表現し、自分自身の大切な思い出を残していきましょう。短歌は初めてという方も大歓迎です。作歌経験のある人は、さらなる境地へと挑戦して下さい。

4月	23日
5月	14日、28日
6月	11日、25日
7月	9日
10月	8日、22日
11月	12日、26日

■単位数 2単位
■受講料 22,000円

テキスト 『万葉集(下)』 桜井満訳注 旺文社(全訳古典撰集) オンデマンド版 2,750円(本体価格)

参考書 特定せず。各自お持ちの参考書をご持参ください。

08

日本国憲法の日本語文法

金曜日
12:50~14:20

講師



國學院大學
新
國學院大學短期大学教授(学長)・
國學院大學名誉教授・博士(文学)
なかむら ゆきひろ
中村 幸弘

専門分野 日本語学

講座内容

日本国憲法は、中学・高校で学習した学校文法だけでは読めません。私は、長く、学校文法を生かしながら、各条文の文構造を整理して、図解図示して説明してきています。改憲のお考えにしても護憲のお考えにしても、その議論に先立って、各条文そのものの読解を徹底させたいと思えます。

昭和21年11月3日に公布され、昭和22年5月3日から施行されて現在に至っている日本国憲法です。70余年の間に、日本語も相応に変化しています。

導入(大日本帝国憲法の表現)
読解法Ⅰ=目的語提示文を認識して読む日本国憲法
読解法Ⅱ=条件表現に留意して読む日本国憲法
読解法Ⅲ=「は」のいろいろに警戒して読む日本国憲法
読解法Ⅳ=何のための受け身かを見定めて読む日本国憲法
日本国憲法の表現から見た直近70年の日本語史
テキスト巻末には、日本国憲法の全文が収録されています。

4月	17日
5月	15日、29日
6月	12日
7月	3日

■単位数 1単位
■受講料 11,000円

テキスト 『日本国憲法の日本語文法』 中村幸弘著 右文書院 1,200円(本体価格)

09 日本語“どうして”Q&A100

—日本語の歴史と未来を学ぶ—

金曜日

12:50~14:20

講師



國學院大學栃木短期大学教授(学長)・
國學院大學名誉教授・博士(文学)
なかむら ゆきひろ
中村 幸弘

専門分野 日本語学

講座内容

日々の日本語のなかには、どうしてそういう単語があるのか、そういう表現をするのか、そう読まれるのか、そう発音されるのか、辞書などを引いてもわからないことがしばしばあると思います。そういう日本語への“どうして”という問いを100項目取り立ててお答えした読み物が、拙著『日本語どうしてQ&A100』です。ありがたいことに、カスタマーレビュー五つ星になっています。本年度は、そのQ21からQ40まで、古辞書や古典文の用例などの関係資料を配布して、詳しく解説してまいります。以下は、その一部です。

- ・来る11月3日などの「来」字が、「く」でなく、「きた」と読まれるのは、どうしてか。
- ・「胡瓜」は「うり」だから、「きゅうり」のはずなのに、「きゅうり」と発音されるのは、どうしてか。
- ・「くだもの(果物)」「けだもの(獣)」の「だもの」という部分が、共通するのは、どうしてか。
- ・「行かせる」の「せる」は助動詞なのに、「聞かせる」「騒がせる」が単語であるのは、どうしてか。
- ・「しかし」と、「ながら」を付けた「しかしながら」とが、同じ意味を表すのは、どうしてか。

9月	25日
10月	2日、23日
11月	13日、27日

■単位数 1単位
■受講料 11,000円

テキスト 『日本語“どうして”Q&A100』 中村幸弘著 右文書院 1,500円(本体価格)
各Qごとに、手造り資料を配布する。

10 文学の風景 —くうそとくまことのあわい—

土曜日

10:30~12:00

講師



國學院大學
兼任講師
おかざき なおや
岡崎 直也

専門分野 近・現代文学

講座内容

佐藤春夫は小説を「根も葉もある嘘八百」と説きましたが、近代リアリズムは、内面をもつ人々が交渉する社会の〈真実〉に虚構をもって迫ることをその理想としました。しかし、私たちの内面も社会の〈真実〉も錯綜する多面的なもので、一義的なものとして明確に描くことなどできません。名作は、〈まこと〉を語っているかに見えて〈うそ〉であることを匂わせたり、〈うそ〉を語るように見えて〈まこと〉を暗示したりと、時にあざやかに、時に苦しげに虚実皮膜の綾を披露してくれます。今年度は、そうした名作の秘密を皆さんとご一緒に覗いてみたいと思います。

- | | |
|-----------------|-------------------------|
| 第1回 国木田独歩「運命論者」 | 第6回 江戸川乱歩「人間椅子」 |
| 第2回 谷崎潤一郎「翫 間」 | 第7回 夢野 久作「瓶詰の地獄」 |
| 第3回 志賀 直哉「范の犯罪」 | 第8回 太宰 治「ダス・ゲマイネ」 |
| 第4回 芥川龍之介「藪の中」 | 第9回 坂口 安吾「私は海を抱きしめてみたい」 |
| 第5回 梶井基次郎「檸檬」 | 第10回 三島由紀夫「サーカス」 |

4月	18日、25日
5月	9日、16日、23日、30日
6月	13日、20日、27日
7月	4日

■単位数 2単位
■受講料 22,000円

テキスト 資料を配付します

11 中国の神話・伝説 —中国古代の人々の心—

木曜日

12:50~14:20

講師



國學院大學
元教授・博士(文学)
まつだ みおる
松田 稔

専門分野 中国古典文学

講座内容

昨年度は、神話や伝説に登場する神的な存在のうち、天に関わる神人の記述を漢文で読み、それらの記述から素朴なものや歴史事実化して語られているものを比較して、古代の人々の心とどのように関わるのかを考えました。

本年は、神人のうち地と関わる存在の記述を漢文で読み、その描かれ方を通して古代の人々の心を知りたいと考えています。

中国の神話的伝承は、歴史書や思想の書などに引用されていて、体系的ではありません。従って断片的であり、歴史事実のように記されているものもありますが、素朴な古代の人々の願いや思いが読みとれます。それらの伝承は、現代の私どもにも共感でき、心とませてくれるものであります。日々の忙しい生活から少し離れて古代の人々の心に触れ、現代生活を見直してみたいと思います。

10月	1日、8日、15日、22日、29日
11月	12日、19日、26日
12月	3日、10日

■単位数 2単位
■受講料 22,000円

テキスト 資料を配付します

12

『論語』を読む

火曜日

10:30~12:00

講師



國學院大學
教授

いしもと みちあき
石本 道明

専門分野 中国古典文学

講座内容

「学びて聖人に至る」とは、「どこまでも、誰でも、より『良き人』に」と解して、日本人は『論語』を読みかつ説き続けました。江戸時代に庶民にまで拡大した読者は、今に至るまで失われていません。時代が揺れ動くときこそ、「変わらないもの、易えてはならないもの」を見据えるために、我々は『論語』を読み継いできました。澁澤榮一の経済道德合一説が唱えられたのも、その明証でした。常に自分に引き付けて考え、行動につなげることを求められる『論語』なればこそその卓説です。

ただし、精確な語義の追究や主旨への洞察などの基礎がなければ、自分勝手な理解になりかねません。そこで本講座では、『論語』の標準的解釈として朱子の『論語集注』に拠り、加えて多様な別解も紹介しながら、受講者の皆さんと考えを重ねて行きたいと思えます。

『論語』は各章句が独立し、どこから読み始めてもよい構成になっています。新たに読み始める方も気づかいはありません。今期は、顔淵篇の冒頭から読み始めます。

4月	21日
5月	19日
6月	2日、16日、30日
9月	29日
10月	13日、27日
11月	17日
12月	1日

■単位数 2単位
■受講料 22,000円

テキスト 『孔子全集』巻6・論語6 吹野安・石本道明共著
明德出版社 2,500円(本体価格)

参考書 『論語』朱熹の本文訳と別解 石本道明・青木洋司共著 明德出版社 1,900円(本体価格)

13

折口信夫・釋迢空研究18 折口信夫を読み解く

土曜日

①12:50~14:20

②14:30~16:00

コーディネーター



國學院大學
教授・博士(文学)

おおいし やすお
大石 泰夫

専門分野 民俗学・上代文学

講座内容

折口信夫(明治20年2月11-昭和28年9月3日)は、日本文化の構成原理や特質について、いくつもの理論を提示しています。「折口学」とも総称されるその学問は、文学、民俗学、芸能史、神道学などいくつもの分野にわたっています。こうした意味において折口は、近代日本における稀有な学者であるといえます。

折口が提示した文化理論の、たとえば「まれびと」論は日本人の心意の深層にある神観念や他界観、さらには文学や芸能の発生にも及んでいます。また折口の鎮魂論は、よく知られた伴信友の理論とは異なる独自のものです。こうした諸理論は、没後70年近くが経過した現在でも多くの人たちが関心を寄せています。

抽象性が高い折口の論文は難解といわれていますが、講座では折口の5つの論文を取り上げ、その文意を理解し、説かれている理論を読み解いていきます。短めな論文は全文を読み通し、長い論文は重要箇所を選んで理論検討を進めます。1回2コマずつ、全10コマを開講します。

4月	18日
5月	16日、30日
6月	13日、27日

■単位数 2単位
■受講料 22,000円

第1回	「春来る鬼」①②	國學院大學教授	大石 泰夫
第2回	「民俗学上よりみた五月の節供」③④	國學院大學教授	大石 泰夫
第3回	「仇討ちのふおくろあ」⑤⑥	國學院大學教授	大石 泰夫
第4回	「祭りの話」⑦⑧	國學院大學教授	小川 直之
第5回	「門松のはなし」⑨⑩	國學院大學教授	小川 直之

※この講座とは別に、9月2日・3日(1泊2日)に折口の墓所である石川県羽咋市での折口信夫・春洋年祭への参加者を募ります。

テキスト プリントして配付しますが、今年の五つの論文は『折口信夫全集17 春来る鬼・仇討ちのふおくろあ』(中央公論社・1996年)に収録されています。

コーディネーター



國學院大學
教授・博士(民俗学)

おがわ なおゆき
小川 直之

専門分野 民俗学

講座内容

『古事記』や『日本書紀』に記された日本の神話は、古代国家の成立と密接に関係するもので、以後、現在に至るまで各時代にさまざまな解釈が加えられてきました。こうした神話群には、高天原神話、出雲神話に加え、現在の宮崎県を舞台とする日向(ひむか)神話などがあります。宮崎県と連携したこの講座では、日向神話を中心にとりあげ、その内容と特質を講じていきます。

一方では、宮崎県には日向神話を題材にした神楽が色濃く伝承されています。その数は200を越えます。このなかには高千穂神楽・椎葉神楽・銀鏡神楽・高原の神舞といった国の重要無形民俗文化財の指定を受けているものもあります。日本全体では5000を越える神楽があり、講義では全国的な視野も含めて、宮崎県内の神楽の内容と特質を講じます。

神話と神楽は結びつきながら存在しており、両者を関連させながら講じるところに、この講座の特色があります。4人の講師が、独自の視点で神話と神楽について解説していきます。受講者には神楽公演のお知らせもします。

第1回	神楽にみる陰陽五行思想	國學院大學教授 小川 直之
第2回	神の声を聞くー巫覡と神楽ー	國學院大學教授 大石 泰夫
第3回	それぞれの日向神話 ー日本書紀と風土記の比較ー	宮崎県立看護大学教授 大館 真晴
第4回	日向神話の歌と儀礼	國學院大學准教授 渡邊 卓
第5回	宮崎の神楽の特色は何か	國學院大學教授 小川 直之

10月	10日、24日
11月	7日、21日
12月	5日

■単位数 1単位
■受講料 11,000円

テキスト 資料を配付します。宮崎の神楽については、ガイドブックを配付します

講師



國學院大學
元教授・博士(社会学)
国立歴史民俗博物館名誉教授
国立総合研究大学院大学名誉教授

しんたに たかのり
新谷 尚紀

専門分野 民俗学

講座内容

國學院大學は日本民俗学を創始した柳田國男とその学問をよく理解し協力して本学に民俗学の講座を開設した折口信夫という二人の巨人が教授を勤めた大学です。その二人がもっとも大きな研究関心を抱いたのは日本の神々と祭りについてでした。そんな偉大な先人には遠く及ぶべくもありませんが、その民俗学、民俗伝承学の視点から、今回は、『伊勢神宮と出雲大社』が講談社学術文庫として再刊されたのを機に、日本の根幹の形成をめぐる、『伊勢神宮の創祀と出雲大社の創建』が、「日本」と「天皇」の誕生に深く結びついていたということを、史実と構造という両方の分析視点から読みといてみたいと思います。

- 第1回 神宮創祀の諸学説・神話と歴史の構造
- 第2回 日の御子の系譜・倭王の出自伝承
- 第3回 日出ずる処の天子・書き替えられた推古紀
- 第4回 壬申の乱・天照大神と持統天皇
- 第5回 新益京と神宮・遷宮の創始と伝承

4月	15日
5月	13日、27日
6月	10日、24日

■単位数 1単位
■受講料 11,000円

※前期のみ、後期のみ
受講も可能です。


テキスト 伊勢神宮と出雲大社「日本」と「天皇」の誕生 新谷尚紀著 講談社学術文庫 1,050円(本体価格)

16 民俗伝承学から日本文化を読む(二)

—伊勢神宮と出雲大社:「日本」と「天皇」の誕生—

水曜日
14:30~16:00

講師



國學院大學
元教授・博士(社会学)
国立歴史民俗博物館名誉教授
国立総合研究大学院大学名誉教授
しんや たかのり
新谷 尚紀
専門分野 民俗学

講座内容

● 國學院大學は日本民俗学を創始した柳田國男とその学問をよく理解し協力して本学に民俗学の講座を開設した折口信夫という二人の巨人が教授を勤めた大学です。その二人がもっとも大きな研究関心を抱いたのは日本の神々と祭りについてでした。そんな偉大な先人には遠く及ぶべくもありませんが、その民俗学、民俗伝承学の視点から、今回は、『伊勢神宮と出雲大社』が講談社学術文庫として再刊されたのを機に、日本の根幹の形成をめぐる、「伊勢神宮の創祀と出雲大社の創建」が、「日本」と「天皇」の誕生に深く結びついていたということを、史実と構造という両方の分析視点から読みといてみたいと思います。

第1回 伊勢神宮と出雲大社・対称性と二重構造
第2回 神話の中の出雲・出雲神話の意味
第3回 歴史の中の出雲・青銅器祭祀から古墳祭祀へ
第4回 出雲大社の創建・巨大神殿の歴史
第5回 祭祀王への純化・出雲の地位の変化

10月	7日、21日
11月	11日、25日
12月	9日

■単位数 1単位
■受講料 11,000円
※前期のみ、後期のみ受講も可能です。

テキスト 伊勢神宮と出雲大社「日本」と「天皇」の誕生 新谷尚紀著 講談社学術文庫 1,050円(本体価格)

17 明智光秀をめぐる人々

月曜日
12:50~14:20

講師



國學院大學
教授・博士(歴史学)
やべ けんたろう
矢部 健太郎
専門分野 日本中世史

講座内容

● 令和2年度のオープンカレッジでは、大河ドラマにも取り上げられている明智光秀に注目する。彼は本能寺の変の首謀者としてあまりにも有名だが、彼の素顔は意外に知られていない。その人となりはどのようなものであったのか。周辺の人物とのかかわりを示す史料をもとに明らかにしていく。

講義内容(予定)

第1回目 光秀の出自と家族	第6回目 光秀の教養
第2回目 足利將軍家のトラブル	第7回目 光秀と朝廷
第3回目 義昭の還俗と光秀	第8回目 政務官としての光秀
第4回目 信長との出会い	第9回目 光秀の戦い
第5回目 ライバル秀吉	第10回目 一瞬の天下人

4月	27日
5月	11日、25日
6月	8日、22日
10月	5日、19日
11月	9日、30日
12月	14日

■単位数 2単位
■受講料 22,000円

テキスト 資料を配付します

18 江戸時代の古文書を読む<初級>

金曜日
12:50~14:20

講師



國學院大學
教授
ねぎし しげお
根岸 茂夫
専門分野 日本近世史

講座内容

● 江戸時代のくずし字で書かれた古文書について、わかりやすい解読方法を皆さんと考えていきます。江戸時代の古文書は20億点あるという説がありますが、まだ数えた人はいません。ただ活字になって読めるのは、おそらく1・2%に過ぎません。ほとんどの古文書はくずし字で書かれており、これを解読することによってさまざまな新史実を知ることできます。また江戸時代の古文書の大半は、庶民が書いたものです。庶民が字を書いたり読んだり理解したりする能力を身につけ、自らを主張するだけの実力を持つようになって庶民文化が生まれた時代でもありました。そのような社会の特徴を古文書は如実に物語っています。ところで、古文書解読の解説書は数多く出版されていますが、そうした書籍だけで古文書を読みこなすようになれるのは、なかなか難しいことです。それは解説書の多くがくずし字の形を「覚えなさい」と教えているからです。この講座では、覚えるよりも、なぜこんなくずし方をしたのかと、くずし字を理解しながら、江戸時代の歴史のおもしろさを実感していきましょう。

4月	24日
5月	8日、22日
6月	5日、19日

■単位数 1単位
■受講料 11,000円

テキスト 資料を配付します 参考書 『新編古文書解読字典』 柏書房 3,107円(本体価格)

19

将軍の日光社参と江戸幕府

金曜日

12:50~14:20

講師



新

國學院大學
教授

ねぎし しげお
根岸 茂夫

専門分野 日本近世史

講座内容

江戸幕府にとって日光は聖地でした。神君徳川家康を祀った日光東照宮に、歴代将軍のうち6名が参詣しましたが、その行粧は数万の軍勢を率いた大規模なものであり、また関東の村々から多くの人々が動員され、街道の整備なども膨大な費用を費やしました。一方その社参は日光のさまざまな人々にとっても、また江戸幕府の政治にとっても大きな意義を持ったものでした。そのような社参の行列の実態や、日光御成道沿道の町や村の対応を見ていくとともに、社参と幕政の展開との関係も考えていきます。

- 第1回 東照宮の創設と秀忠・家光政権
- 第2回 家綱政権の日光社参
- 第3回 東照宮と綱吉政権
- 第4回 享保改革と日光社参
- 第5回 田沼時代・天保改革期の日光社参

10月 2日、16日

11月 6日、20日

12月 4日

■単位数 1単位
■受講料 11,000円



テキスト 資料を配付します



参考書 講義の中で紹介します

20

江戸の刑罰(一) -江戸幕府の刑罰制度-

金曜日

14:30~16:00

講師



國學院大學
名誉教授・法学博士

たかしお ひろし
高塩 博

専門分野 日本法制史

講座内容

幕府の刑罰は、18世紀中葉の寛保2年(1742)、「公事方御定書」が制定されたことによって整備されました。その刑罰を大きく分類すると、(1)7種類の死刑(鋸挽・磔・獄門・火罪・斬罪・死罪・下手人)、(2)遠島を含む追放刑(江戸十里四方追放・江戸払・所払など)、(3)敲、入墨、過料など、おもに軽微な犯罪に用いる刑罰に分かれます。

これらの刑罰を系統的に解説します。刑罰の種類と執行方法などから見えてくる江戸時代の刑罰観と、現代人の刑罰観とを比較しながら、江戸時代と現代とがどのように関連するのか、あるいは関連しないのかを考えてみようと思います。

- 第1回 死刑の種類と執行方法
- 第2回 死刑の執行数と刑罰観
- 第3回 遠島(島流し)の執行法
- 第4回 追放刑の執行とその変遷
- 第5回 敲・入墨・過料の創設とその意義

4月 24日

5月 8日、22日

6月 5日、19日

■単位数 1単位
■受講料 11,000円



テキスト 資料を配付します



参考書 『江戸幕府法の基礎的研究《論考篇・史料篇》』 高塩博著 平成29年 汲古書院 22,000円(本体価格)
『江戸幕府の「敲」と人足寄場』 高塩博著 平成31年 汲古書院 11,000円(本体価格)

21

江戸の刑罰(二) -肥後国熊本藩の刑罰制度-

金曜日

14:30~16:00

講師



國學院大學
名誉教授・法学博士

たかしお ひろし
高塩 博

専門分野 日本法制史

講座内容

数ある藩のなかから熊本藩をえらびました。熊本藩は大大名の細川氏が54万石を支配する外様藩です。刑罰制度を整備したのは、宝暦5年(1755)のことです。この年に「刑法草書」という名の刑法典を施行したのです。「公事方御定書」に遅れること13年です。ここに笞刑、徒刑、死刑の三種類の基本となる刑罰を定め、あわせて刺墨という名の入墨刑を採用しました。

熊本藩の刑罰は、犯罪者を懲らしめようという目的ばかりでなく、犯罪者の人間性を改善して社会に復帰させようという目的を備えていました。この考え方は、江戸時代の刑罰として画期的でした。熊本藩を選んだ理由はここにあります。

- 第1回 笞刑の執行方法と刑罰思想
- 第2回 徒刑の執行方法と刑罰の目的
- 第3回 徒刑制度の波及
- 第4回 刺墨と除墨
- 第5回 死刑制度にみる改善主義

10月 2日、16日

11月 6日、20日

12月 4日

■単位数 1単位
■受講料 11,000円



テキスト 資料を配付します



参考書 『熊本藩法制史料集』 小林宏・高塩博著 平成8年 創文社 21,000円(本体価格)
『江戸時代の法とその周縁—吉宗と重賢と定信と—』 高塩博著 平成16年 汲古書院 3,000円(本体価格)

22

歴史の捉え方 — 全国の城・その城を巡る人間模様 —

月曜日
14:30~16:00

講師



國學院大學 客員教授
京都造形芸術大学教授
元NHKアナウンサー
まつだいら さだとも
松平 定知

講座内容

空前の「城ブーム」だそうである。町の本屋さんには、「百名城」やら「日本の城」やらなどのタイトルをつけた、所謂、城の本が何種類も並んでいる。店員さんに聞くと、それらはただ並んでいるだけでなく、それぞれに、結構、売れているのだという。テレビ番組でも「城モノ」がよく放送され、歌舞伎や映画の俳優さんや落語家さんたちがそれぞれの番組で蘊蓄を傾けておられ、視聴率も「そこそこ」だそうである。私も城が好きで、番組出演も何度か経験したし、講談社の自動車誌(ベストカー)では全国の城の紹介を6年間連載した。立地場所、城の形態、縄張り、櫓、曲輪、石垣、天守、瓦、破風の型、壁の種類などなど、城の構造上の問題やモノや形への興味は尽きないが、行きつくところは、やはり「人」になる。平成27年から、このエクステンション・クラスを担当して言い続けてきたのは、「歴史」は、年代や場所などの機械的暗記の集積ではないということ。「歴史は人が織りなす人間模様だ」ということであった。講義では1年10人の人物を年代も性別も無関係にアトランダムに抽出して90分の話をしてきた。その10人の主人公には、それぞれに10人ずつほどの「関係者」がいるから1年間で100人。となるとこれまで私の授業を5年連続して受講して下さった「生徒さん」は、実に、500人の「歴史びと」と知己になられた計算になる。その「歴史びと」との邂逅を、今年からちょっと趣向を変えて、「城」を媒介にして、やってみようと思っている。

北と南から交互に取り上げて、毎回2城ずつ。3年で日本全国網羅となる(勿論、一県一城とは限らない)。

さあ、「その城」には、どういう物語があるのか。城を巡る人間模様に、乞ご期待。

第1回	北海道・松前城と沖縄県・首里城
第2回	青森県・弘前城と鹿児島県・鹿児島城
第3回	岩手県・盛岡城と宮崎県・飫肥城
第4回	宮城県・仙台城と大分県・中津城
第5回	秋田県・久保田城と熊本県・熊本城
第6回	山形県・鶴が丘城と長崎県・原城
第7回	福島県・会津若松城と佐賀県・名護屋城
第8回	茨城県・水戸城と福岡県・福岡城
第9回	栃木県・宇都宮城と高知県・岡豊城
第10回	群馬県・高崎城と愛媛県・松山城

4月	20日
5月	18日
6月	1日、15日、29日
9月	28日
10月	12日、26日
11月	16日
12月	7日

■単位数 2単位
■受講料 22,000円



資料を配付します

23

遊べる日本美術6 もっと！遊べる浮世絵

— 洒落を味わう・おもちゃ絵を愛でる —

火曜日
18:30~20:00

講師



國學院大學
教授・博士(哲学)
ふじさわ あきひろ
藤澤 紫

専門分野 日本美術史・日本近世史・比較芸術学

講座内容

「遊び」と「笑い」の浮世絵ワールド！
令和2年、東京オリンピック・パラリンピック開催に伴い、日本の伝統文化が再注目されています。パスポートの新図案に、葛飾北斎の「富嶽三十六景」が採用されるなど、今や日本の「顔」ともなった浮世絵。その中には、洒落を盛り込んだ私的な摺物や、愉快的戯画、さらに子どもたちの知育玩具ともなったおもちゃ絵など、様々な魅力的な主題が隠されています。「洒落」と「おもちゃ絵」をキーワードに、豊富なスライドと共に国内外の名品の謎を解き明かします。

予定題目・浮世絵と遊びの文化史・おもちゃ絵と紙文化・判じ絵と文字文化・立万古を楽しむ・嵌め絵と東西交流・七夕と季節の展覧会案内・尽くし絵と博物学・絵暦と洒落・お洒落な装い・戯画と風刺画

4月	14日
5月	12日、26日
6月	9日、23日
7月	7日
10月	13日、27日
11月	17日
12月	1日

■単位数 2単位
■受講料 22,000円



『くもんの子ども浮世絵コレクション 遊べる浮世絵 江戸の子ども絵・おもちゃ絵大集合！』
藤澤紫・加藤陽介監修 青幻舎 2,300円(本体価格)



『遊べる浮世絵 体験版江戸文化入門』
藤澤紫著 東京書籍 1,900円(本体価格)

24

世界の中の日本 —新冷戦の行方とアジア情勢—

金曜日

10:30~12:00

講師



國學院大學客員教授
産経新聞編集局編集委員
くぼた りつこ
久保田るり子

専門分野 国際関係、安全保障、
アジア情勢、朝鮮半島問題、日本外交

講座内容

中国は共産党大会で2021年を躍進の年と位置づけ、名実ともに「アジアで第1位」の地位を目標としている。国家資本主義を着実に前進する中国は、建国から100周年の2049年には米国をしのぐ軍事力を持つ「世界最強の軍隊」を目指すとも豪語している。中国が米主導の自由主義圏をしのぐ「パクス・シニカ」(Pax Sinica)を達成する挑戦こそが新冷戦の正体といえよう。一方の自由主義圏はグローバリズムの負の側面からナショナリズムの台頭の時代を迎えているが、米国の一国主義は国内分裂を誘い、EUは英国離脱問題をいまだに解決できずに欧州の内部分裂に悩まされている。アジアではインドの大国化が顕在化し、台中衝突、あるいは朝鮮半島の不安定化を抱えて地殻変動が始まっている。

本講座では世界とアジアの地域情勢を丁寧に読み解きながら、日本外交の直面する課題について「私たちはどんな時代に生きているのか」「世界はどこに向かっているのか」をキーワードに解析していく。

2020年は台湾総統選、米大統領選など大きなイベントが控えています。今年は最新ニュース解説も加えビビッドな国際情勢講座にしていこうと思っています。

4月	17日
5月	15日、29日
6月	12日、26日
10月	9日、23日
11月	13日、27日
12月	11日

■単位数 2単位
■受講料 22,000円

テキスト 資料を配付します

25

かなの鑑賞と実作(一) —一寸松庵色紙の散らし書きを学ぶ—

月曜日

12:50~14:20

講師



元公益財団法人 五島美術館 副館長
なごや あきら
名見耶 明

専門分野 日本書道史・
博物館学(実習)

講座内容

仮名の美しさは、日本人なら誰もが美しいと思う美術や建物、庭などと共通するものです。言い換えれば、日本人の美意識は、仮名の表現で象徴されていると言えます。少し大げさですが、仮名を学び、その散らし書きの様子を知ること、美意識を確認し、いかに仮名が美しいもので、日本人の豊かな心を表しているかを知ることになると思います。

そうした仮名にも様々な作品が、平安時代中期から遺されています。今回は、その仮名の中でも散らし書きの名品と言われる「一寸松庵色紙」を学んでみたいと思います。「一寸松庵色紙」は、仮名が誕生してから、百年以上ののちの、仮名の表現がもっとも多彩になった時期のひとつと考えられています。基本的な仮名の書き方を含め、散らしという表現の妙を体験していただきたいと思います。

第1回は、スライドなどを使用した「一寸松庵色紙」の講義です。
第2回目からは、仮名用の書道用具、仮名用半紙をお持ちください。

4月	13日、20日、27日
5月	11日、18日、25日
6月	8日、15日、22日、29日

■単位数 2単位
■受講料 22,000円
■定員 30名(先着順)
締切日前に定員に達することがございます

テキスト 日本名筆選12 「一寸松庵色紙」 伝紀貫之筆 二玄社 2,600円(本体価格)

26

かなの鑑賞と実作(二) —仮名の散らし書きの様々を学ぶ—

月曜日

12:50~14:20

講師



元公益財団法人 五島美術館 副館長
なごや あきら
名見耶 明

専門分野 日本書道史・
博物館学(実習)

講座内容

仮名の美しさは、日本人なら誰もが美しいと思う美術や建物、庭などと共通するものです。言い換えれば、日本人の美意識は、仮名の表現で象徴されていると言えます。少し大げさですが、仮名を学び、その散らし書きの様子を知ること、美意識を確認し、いかに仮名が美しいもので、日本人の豊かな心を表しているかを知ることになると思います。

そうした仮名にも様々な作品が、平安時代中期から遺されています。今回は、その仮名の中でも和歌の散らし書きの始まりと思われる作品を学んでみたいと思います。主に「貫之集切」を取り上げますが、仮名が誕生してから、百年ほど経た紫式部が、「今の時代は仮名は素晴らしい」と述べたころの表現のひとつと考えています。基本的な仮名の書き方を含め、散らしという表現の様々を体験していただきたいと思います。

第1回は、スライドなどを使用した「貫之集切」等の講義です。
第2回目からは、仮名用の書道用具、仮名用半紙をお持ちください。

9月	28日
10月	5日、12日、19日、26日
11月	9日、16日、30日
12月	14日、21日

■単位数 2単位
■受講料 22,000円
■定員 30名(先着順)
締切日前に定員に達することがございます

テキスト 資料を配付します

27

仮名(一)〈初級～中級〉 —仮名書道の楽しみ—

月曜日
10:30～12:00

講師



國學院大學
准教授・博士(芸術学)
はしもと たかあき
橋本 貴朗

専門分野 書道・日本書道史

講座内容

仮名書道独特の表現方法の一つに、散らし書きがあります。行の長短・高低、また行間の広狭などを変えることによって、紙面に変化と統一を与えようとするものです。本講座では、その散らし書きの基本とバリエーションを、昭和を代表する書家の一人・桑田笹舟(1900-1989)が提唱した三角法構成(紙面に何らかの三角形を想定します)に基づいて、学んでいきます。古筆(古人の筆跡)の臨書から、創作への展開を企図するものでもあります。

必要な用具・用材については、講座第1回目に説明します。第2回目以降は、各回ともに原則として前半が講義、後半が実習(個別添削中心)です。なお、添削は2回に1回程度となる場合もあります。

*前期は「〈初級〉—仮名書道に親しむ—」と隔年で開講しています。本講座の内容は平成30年度開講の同名講座に準じます。

4月	13日、20日、27日
5月	11日、18日、25日
6月	1日、8日、15日、22日

■単位数 2単位
■受講料 22,000円
■定員 30名(先着順)
締切日前に定員に達することがございます
※前期のみ、後期のみの受講も可能です。

テキスト

資料を配付します

参考書

「いまさら他人に聞けない かなの疑問100」 村上翠亨著 芸術新聞社 1,800円(本体価格)
「図説かなの成り立ち事典」 森岡隆著 教育出版 2,500円(本体価格)

その他、講座中に随時、紹介します

28

仮名(二)〈中級〉 —升色紙—

月曜日
10:30～12:00

講師



國學院大學
准教授・博士(芸術学)
はしもと たかあき
橋本 貴朗

専門分野 書道・日本書道史

講座内容

「升色紙」は、平安時代の古筆を代表する優品の一つで、「寸松庵色紙」「継色紙」とあわせて今日、三色紙と総称されています。名前に「色紙」とありますが元は冊子本で、清少納言の曾祖父・清原深養父の家集『深養父集』を书写したものです。

「升色紙」といえば繊細・優美な散らし書きがイメージされるところですが、その姿は必ずしも平安時代の当初のものではありません。本講座では、そうした伝来(伝わって来る)過程における改変の様相や、料紙(書かれた紙)、装丁(本の仕立て方)等、様々な観点から丁寧に見ていき、「升色紙」に対する理解を深めるとともに、その臨書を通して仮名書道の技法のいっそうの習熟を目指します。

必要な用具・用材については、講座第1回目に説明します。第2回目以降は、各回ともに原則として前半が講義、後半が実習(個別添削中心)です。なお、添削は2回に1回程度となる場合もあります。

9月	28日
10月	5日、12日、19日、26日
11月	9日、16日、30日
12月	7日、14日

■単位数 2単位
■受講料 22,000円
■定員 30名(先着順)
締切日前に定員に達することがございます
※前期のみ、後期のみの受講も可能です。

テキスト

日本名筆選16 『升色紙』 伝藤原行成筆 二玄社 2,200円(本体価格)

参考書

「平安かなの美」 村上翠亭監修・高城弘一編 二玄社 2,600円(本体価格)
「携帯かな字典」 筒井茂徳編 角川書店 1,800円(本体価格)

その他、講座中に随時、紹介します

29

仮名(三)〈初級～中級〉 —美しい仮名を書きたい人のために—

火曜日
12:50～14:20

講師



國學院大學
兼任講師
すげうら たえこ
杉浦 妙子

専門分野 仮名書道・日本書道史

講座内容

私たちは文字を書く時、できるだけ美しく書きたいと思っています。それは文字を美しく書くというDNAが日本人の心に根付いているからでしょう。源氏物語を代表とする古典文学の中にも、文字に関する表記が所々に見られ、それが物語全体のキーワードとなっていく事もあります。

本講座は仮名が最も発展した平安時代摂関期から院政期の古筆を選択し、学習していく講座です。前期は摂関期を代表する古筆『粘葉本和漢朗詠集』を学びましょう。仮名の基礎学習としても上級者にとっても有益な古筆です。本講座はリピーターも多くいますが、個々の実力に合わせたプリント等も用意していますから、初心者の方も安心して受講できます。

また、博物館などで催される展覧会情報もその都度紹介していきます。初めて受講される方は、1回目の講座の時にお手持ちの書道用具をお持ちください。まず、用具の見直しから始め、各自の手に合った用具をご紹介します。

4月	14日、21日、28日
5月	12日、19日、26日
6月	2日、9日、16日、23日

■単位数 2単位
■受講料 22,000円
■定員 40名(先着順)
締切日前に定員に達することがございます
※前期のみ、後期のみの受講も可能です。

テキスト

日本名筆選8 『粘葉本和漢朗詠集』(巻上) 伝藤原行成筆 二玄社 3,800円(本体価格)

30

仮名(四)〈初級～中級〉 -美しい仮名を書きたい人のために-

火曜日

12:50~14:20

講師



國學院大學
兼任講師
すぎうら たえこ
杉浦 妙子

専門分野 仮名書道・
日本書道史

講座内容

後期は『粘葉本和漢朗詠集』の書かれた時代よりぐっと時代の下がった『中務集』をテキストとして学んでいきます。

前期と同様、初学者のために「いろは」から始めていきますから、後期からの受講も可能です。この講座はリピーターが多いので、少し古筆に慣れてきた方達には、「散らし」の学習も併せて行いたいと思います。『中務集』はシャープな筆致が魅力の古筆で、一見難しいそうに思えますが、コツを覚えてしまえば、意外と楽に筆を運ぶことができます。初めて受講される方は、1回目の講座の時に手持ちの書道用具をお持ちください。まず用具の見直しから始め、各自の手に合った用具をご紹介します。

9月	29日
10月	6日、13日、20日、27日
11月	10日、17日、24日
12月	1日、8日

■単位数 2単位
■受講料 22,000円
■定員 40名(先着順)
締切日前に定員に達することがございます
※前期のみ、後期のみの受講も可能です。

テキスト 日本名筆選34 『中務集』伝西行筆 二玄社 3,600円(本体価格)

31

漢字(一)行書〈初級～中級〉 -王羲之「集字聖教序」を習う-

金曜日

14:30~16:00

講師



國學院大學
准教授
のむら
野村 ひかり

専門分野 中国書法

講座内容

文章に合わせて文字を集め書跡を作ることを「集字」といい、書聖・王羲之(303?~361?)の文字を集めた集字碑が、「集字聖教序」(672)です。「聖教序」とは、かの玄奘三蔵法師がインドより将来した仏典を漢訳し、唐の太宗に序文を請い、序が下賜されるとともに高宗にも記を賜ったものを指しています。碑は唐代につくられ、現在、西安碑林に列置されています。

この「集字聖教序」は、王羲之の行書を習う手本として、古来、重んじられてきました。ご経験者の方は何回習っても習いすぎということはない、初心者の方は基本を学ぶに当たり最善である、この二つを兼ね備えたテキストといえるでしょう。

本講座では、初級の方は半紙で行書の基本を学び、中級の方は半切作品にも取り組みます。個別の半紙添削を行います。また、講座中盤には、半切作品講評の時間を設けており、新しく講座参加された方もご希望があれば、どなたでも参加可能です。

第1回目から書道用具一式(筆、墨、硯、半紙、下敷、文鎮など)をご持参ください。新たに購入される場合は、第1回目の用具用材についての説明の後、ご購入ください。

4月	17日、24日
5月	8日、15日、22日、29日
6月	5日、12日、19日、26日

■単位数 2単位
■受講料 22,000円
■定員 40名(先着順)
締切日前に定員に達することがございます
※前期のみ、後期のみの受講も可能です。

テキスト 中国法書選16 『集字聖教序』 東晋・王羲之 二玄社 1,600円(本体価格)

32

漢字(二)草書〈初級～中級〉 -王羲之「十七帖」を習う-

金曜日

14:30~16:00

講師



國學院大學
准教授
のむら
野村 ひかり

専門分野 中国書法

講座内容

「十七帖」は書聖・王羲之(303?~361?)の草書で書かれた尺牘(手紙)二九帖を集めたものです。無類の羲之ファンであった唐の太宗が集めた三千紙にものぼる羲之尺牘の中から、草書でしかも書きぶりの似かよったものを精選して作られたということで、草書を学ぶ人達の最良の手本として今日に伝えられています。

草書は元来、正体の文字を簡略化して速書きするところから発達してきました。そして日常の手紙文に使われるようになり、その美しさが賞でられるようになったのです。

本講座では、草書の基本をしっかり学んでいきます。筆画の続け方の違いで誤字になりがちな書体ですので、一字一字ポイントを解説致します。

初級の方は半紙で学び、中級の方は半切作品にも取り組みます。おひとりおひとりに対して添削、講評を行い、各自の技術向上を目指すことが出来るよう配慮しています。但し、行草書という語も存在するように、草書は行書と一体ですので、出来れば前期と併せて受講ください。

第1回目から書道用具一式(筆、墨、硯、半紙、下敷、文鎮など)をご持参ください。

10月	9日、16日、23日
11月	6日、13日、20日、27日
12月	4日、11日、18日

■単位数 2単位
■受講料 22,000円
■定員 40名(先着順)
締切日前に定員に達することがございます
※前期のみ、後期のみの受講も可能です。

テキスト 中国法書選14 「十七帖(二種)」 東晋・王羲之 二玄社 1,800円(本体価格)

33

漢字(三)楷書〈初級～中級〉

一点画の基礎と大切な3つのポイントを学ぶ

月曜日

14:30～16:00

講師



書道・ペン字講師

こじま けんじ
小嶋 憲次

専門分野 書法・書の商業デザイン

講座内容

「私は悪筆だからどうせ練習したって」と諦め、自分に言い聞かせている人はいませんか？諦めたら、あなたは一生書き文字コンプレックスをもつことになるでしょう。美しい文字はあなたに自信を与え、心を豊かにします。

今回は漢字書法の基礎である楷書を学びます。止め、はね、払いを正しく書けるようにし、書道に達しなかせない3つの大切なポイントについて学習し、さらに用筆法(筆使い)、結構法(文字の形のとり方)、章法(字配り)を古典の臨書により学習します。

「筆順の知識」「筆墨硯紙」の文房四宝については授業の進行により順次講義いたします。

- 毎回授業中と、終了後の提出による添削により、上達のポイントをわかりやすく解説します。
- 継続して学習している方には、さらに書技能向上のために習熟度に合わせた指導をいたします。

第1回目から書道用具一式(半紙も)をお持ちください。

4月	13日、20日、27日
5月	11日、18日、25日
6月	1日、8日、15日、22日

■単位数 2単位
■受講料 22,000円
■定員 30名(先着順)
締切日前に定員に達することがございます
※前期のみ、後期のみの受講も可能です。

テキスト

資料を配付します

参考書

講座中に随時紹介します

34

漢字(四)行書〈初級～中級〉

一行書の基礎と名筆の臨書を学ぶ

月曜日

14:30～16:00

講師



書道・ペン字講師

こじま けんじ
小嶋 憲次

専門分野 書法・書の商業デザイン

講座内容

行書は、楷書のように一点一画を組み立てるのと異なり、点や線を連続的に書くことによって、運筆の遅速、線の太細など多くの表現ができるので、日常性に富むばかりでなく、創造的表現にも適した幅の広い書体でもあります。

今回は、この行書を基礎的学習により用筆法、結構法を学び、さらに行書古典の代表とされる王羲之・蘭亭叙の臨書により、線の変化などによる味わい深い表現を学びます。

- 毎回授業中と、終了後の提出による添削により、上達のポイントをわかりやすく解説します。
- 継続して学習している方には、さらに書技能向上のために習熟度に合わせた指導をいたします。

第1回目から書道用具一式(半紙も)をお持ちください。

9月	28日
10月	5日、12日、19日、26日
11月	9日、16日、30日
12月	7日、14日

■単位数 2単位
■受講料 22,000円
■定員 30名(先着順)
締切日前に定員に達することがございます
※前期のみ、後期のみの受講も可能です。

テキスト

資料を配付します

参考書

講座中に随時紹介します

35

漢字(五)楷書・行書〈初級～中級〉

一和様漢字・小野道風を習う

木曜日

12:50～14:20

講師



國學院大學
兼任講師

いしい きよかず
石井 清和

専門分野 書法

講座内容

日本の書は三筆から三跡へと移り、文字は唐様から和様へと移り変わってゆきます。その開祖となるのが小野道風です。その後、藤原佐理、藤原行成らが現れて仮名が出来上がっていきます。つまり和様漢字は仮名と調和しやすい書風で、手紙・年賀状等を書くのによい手本となります。

この講座では楷書を中心として習います。初め文字を拡大して半紙六字で習い、楷書の基本点画を理解していきます。そして原寸大の臨書とつなげていきます。1・2回の講座をして、例えば線の太くなる傾向の人が多くいようでしたら、副教材として隷書や篆書を習い、直筆になるような筆づかいを感じ取るようにするなど、なるべく個人添削をするようにします。字形はもちろんのことですが、思うような線がなぜ書けないのか、その原因が理解できるような添削をしていきます。

第1回目の講座で文房具について説明をします。購入しようと思っている方は、この説明を聞いてから購入すればよいと思います。またご使用の紙・筆等に疑問のある方はご持参ください。

4月	16日、23日
5月	14日、21日、28日
6月	4日、11日、18日、25日
7月	2日

■単位数 2単位
■受講料 22,000円
■定員 40名(先着順)
締切日前に定員に達することがございます
※前期のみ、後期のみの受講も可能です。

テキスト

日本名筆選38 『小野道風集』 二玄社 3,400円(本体価格)

参考書

随時紹介します

36

漢字(六)楷書・行書〈初級～中級〉

－和様漢字・小野道風を習う－

講師



國學院大學
兼任講師
いしい きよかず
石井 清和

専門分野 書法

講座内容

前講座・漢字(五)に続いて小野道風を習います。行書を中心とします。丸くフワツとした字形とやわらかな連綿線(線と線・文字と文字がつながる線)が書ける筆づかいを学びます。

この講座では、初め筆路の違う文字を取り上げて拡大し、半紙六字で習います。次々に変化していく筆づかいを学び、連綿のシステムを理解していきます。また前講座と同様に、気になる筆づかいが目についた時は、これを修正できるような副教材を習うことで対処していくようにします。

漢字(五)(六)を受講することが理想ですが、どちらかの講座に参加して下さっても大丈夫です。基本的な事はどちらの講座でもお話しします。連続で参加される方は、大きな紙に臨書作品を制作するなど、楽しく書に親しんでください。

第1回目の講座で文房具について説明します。購入しようと思っている方は、この説明を聞いてから購入すればよいと思います。またご使用の紙・筆等に疑問のある方はご持参ください。

木曜日

12:50~14:20

9月	24日
10月	1日、8日、15日、22日、29日
11月	12日、19日、26日
12月	3日

■単位数 2単位
■受講料 22,000円
■定員 40名(先着順)
締切日前に定員に達することがございます
※前期のみ、後期のみの受講も可能です。



テキスト 日本名筆選38 『小野道風集』 二玄社 3,400円(本体価格)



参考書 随時紹介します

37

漢字(七)〈初級～中級〉－篆書・隸書・篆刻に親しむ－

講師



國學院大學
兼任講師
よこくら よしお
横倉 佳男

専門分野 書法

講座内容

篆書・隸書は難しそうと思われていますか？ 本講座では長年本学教授を務めておられた故佐野光一先生の下で35年に亘って教えを受けてきた経験を活かして、先生が特に力を尽くされていた隸書さらには篆書・篆刻を基礎から学んでいきます。日常で篆書・隸書を書く機会はなかなか無いと思いますが、店舗の看板や包装紙などを注意して見ると、思いのほか身近なところに篆書・隸書で書かれた文字を発見することができます。

本講座を通じて楷書・行書・草書・仮名とはまた違った書の魅力を見付けてみませんか。書道初心者の方、書道経験はあるが篆書・隸書は学んだことがない方も、是非一度本講座を受講して篆書・隸書・篆刻にチャレンジしてみてください。

必要な用具・用材については講座の第1回目に講座の進め方等と一緒に説明いたします。2回目以降は各回とも前半に篆書・隸書の基礎から作品鑑賞の説明解説。後半は実習です。実習は各自の進捗状況に合わせて個別に指導、添削を行います。また、篆書と密接に関係する篆刻も作品鑑賞と様々な用途に使用できる遊印などを学んでいきます。実習に関しては篆書・隸書・篆刻のいずれか一つのみを学ぶことも可能です。

水曜日

12:50~14:20

4月	15日、22日
5月	13日、20日、27日
6月	3日、10日、24日
7月	1日、8日

■単位数 2単位
■受講料 22,000円
■定員 30名(先着順)
締切日前に定員に達することがございます
※前期のみ、後期のみの受講も可能です。



テキスト 資料を配付します



参考書 講座時に随時紹介します

38

漢字(八)〈初級～中級〉－篆書・隸書・篆刻に親しむ－

講師



國學院大學
兼任講師
よこくら よしお
横倉 佳男

専門分野 書法

講座内容

篆書・隸書は難しそうと思われていますか？ 本講座では長年本学教授を務めておられた故佐野光一先生の下で35年に亘って教えを受けてきた経験を活かして、先生が特に力を尽くされていた隸書さらには篆書・篆刻を基礎から学んでいきます。日常で篆書・隸書を書く機会はなかなか無いと思いますが、店舗の看板や包装紙などを注意して見ると、思いのほか身近なところに篆書・隸書で書かれた文字を発見することができます。

本講座を通じて楷書・行書・草書・仮名とはまた違った書の魅力を見付けてみませんか。書道初心者の方、書道経験はあるが篆書・隸書は学んだことがない方も、是非一度本講座を受講して篆書・隸書・篆刻にチャレンジしてみてください。

必要な用具・用材については講座の第1回目に講座の進め方等と一緒に説明いたします。2回目以降は各回とも前半に篆書・隸書の基礎から作品鑑賞の説明解説。後半は実習です。実習は各自の進捗状況に合わせて個別に指導、添削を行います。篆刻では作品鑑賞と年賀状等に使用できるような吉語印や様々な用途に使用できる遊印などを学んでいきます。

本講座は前期と異なるテキストを配布していきますので、後期からの受講でも初歩から学べます。また前期から継続受講の方は前期テキストを継続して学ぶこともできます。前期同様に実習は篆書・隸書・篆刻のいずれか一つのみを学ぶことも可能です。

水曜日

12:50~14:20

9月	23日、30日
10月	7日、14日、21日
11月	11日、18日、25日
12月	2日、9日

■単位数 2単位
■受講料 22,000円
■定員 30名(先着順)
締切日前に定員に達することがございます
※前期のみ、後期のみの受講も可能です。



テキスト 資料を配付します



参考書 講座時に随時紹介します

39

『古事記』下巻を読む 一允恭・安康・雄略一

木曜日

10:45~12:15

講師



國學院大學
准教授・博士(文学)
わたなべ たかし
渡邊 卓

専門分野 日本上代文学・
神道古典・国学

講座内容

今年度は允恭記より読み進めます。允恭天皇は、兄である履中天皇、反正天皇が即位にあたって争ったのに対し、皇后や臣下の勤めで即位した天皇です。また允恭記の大半は、崩御後の木梨之輕太子と輕太郎女(別名、衣通郎女)の悲恋が、歌物語によって語られていきます。このなかで天下の民は輕太子に背き、穴穗御子(後の安康天皇)に心を寄せていきます。しかし、即位した安康天皇は義理の息子である目弱王によって殺害されてしまいます。それを知った大長谷王子(後の雄略天皇)は、軍勢を率いて目弱王を攻めるのでした。いよいよ『古事記』の物語は、下巻の山場ともいえる雄略記へと入っていきます。物語、歌謡、系譜など『古事記』の魅力が詰まった場面を読み進めます。

本講座では『日本書紀』『風土記』『万葉集』などの他文献と比較しながら、『古事記』を読むことで『古事記』の特質を明らかにしていきます。ときには神道学や考古学の知見も活用して『古事記』が描く世界観を学んでいきます。初めて受講する方にも『古事記』のおもしろさを理解いただけるよう、丁寧に講義を進めて参ります。

5月	14日、28日
6月	11日、25日
7月	9日
10月	1日、15日、29日
11月	12日、26日

■単位数 2単位
■受講料 22,000円

テキスト

『新版 古事記(現代語訳付き)』 中村敬信訳注 角川ソフィア文庫 1,160円(本体価格)

40

源氏物語講読 一「薄雲」「朝顔」の2帖を読む一

金曜日

14:50~16:20

講師



國學院大學栃木短期大学
教授・博士(文学)
はやし たかかず
林田 孝和

専門分野 平安朝文学

講座内容

『源氏物語』は、日本人の精神史に生き続けている伝承的事実が破綻なく織り込まれ、しかもその上に作者の巧みな作為のベールがかけられています。この伝承性と作為性とは常に微妙に映発しあい、この作品の醸すくものあはれの世界を深甚なものにしています。こうした『源氏物語』の有する文学性の発掘をめざして、今年は第19帖「薄雲」、第20帖「朝顔」の2帖を読みます。

第1回目は『源氏物語』への誘いとして、「源氏物語の手紙」について述べます。2回目からテキストに入りますが、この2帖は、光源氏31歳から32歳までの物語です。「薄雲」では、明石姫君は二条院に引き取られ、天変が続くなか藤壺の死が語られます。「朝顔」ではその藤壺の霊が出現、多情な老女・源典侍も再登場します。

4月	24日
5月	15日、29日
6月	12日、26日
7月	10日
10月	2日、16日
11月	13日、27日

■単位数 2単位
■受講料 22,000円

テキスト

資料を配付します

参考書

『源氏物語事典』 林田孝和他編 大和書房 7,200円(本体価格)

41

松尾芭蕉の紀行文を読む 一『笈の小文』『更科紀行』一

金曜日

14:50~16:20

講師



國學院大學
准教授
なかむら まさあき
中村 正明

専門分野 近世文学

講座内容

本講座は、松尾芭蕉の遺した紀行文を丹念に読み解いていくものである。松尾芭蕉は、その俳業の集大成ともいえるべき紀行文『おくのほそ道』以前にも、幾つもの紀行文を書いている。それは『野ざらし紀行』に始まり、『鹿島詣』、『笈の小文』、『更科紀行』と書き継がれていったものである。

芭蕉は、旅を重ね、多くの人々と出会い、俳諧に対する思索と研鑽を積むことによって、新しい俳諧<蕉風俳諧>を生み出すに至るのである。つまり彼の紀行文を読み進めることは、芭蕉の俳諧の変化と深化の過程を追うことにも通じるわけである。

今回は、第三の紀行文『笈の小文』と第四の紀行文『更科紀行』をじっくりと読み込んでいく。と同時に、江戸時代の俳諧の方法や状況に関しても触れていきたいと考えている。

4月	24日
5月	8日、22日
6月	5日、19日
10月	2日、16日
11月	6日、20日
12月	4日

■単位数 2単位
■受講料 22,000円

- | | |
|-----------------------|----------------------|
| 第1回 『笈の小文』阿波の庄・伊勢・吉野へ | 第6回 『笈の小文』須磨・明石・まとめ |
| 第2回 『笈の小文』吉野 | 第7回 『更科紀行』概説・旅立ち |
| 第3回 『笈の小文』吉野続・旅論 | 第8回 『更科紀行』木曾路 一 |
| 第4回 『笈の小文』奈良・大坂・須磨 | 第9回 『更科紀行』木曾路 二・発句 一 |
| 第5回 『笈の小文』須磨・附惣七宛書簡 | 第10回 『更科紀行』発句 二・まとめ |

テキスト

『芭蕉紀行文集』
中村俊定校注
岩波文庫
660円(本体価格)

42

『枕草子』と『大鏡』などとを併せ読む

—中関白家の人々を追う—

月曜日

13:05~14:35

講師



國學院大學栃木短期大学教授(学長)・
國學院大學名誉教授・博士(文学)
なかむら ゆきひろ
中村 幸弘

専門分野 日本語学

講座内容

『枕草子』では清少納言によって描かれる華麗なる一族が、『大鏡』では笑いにされたりしています。権勢を極めていた人々が、その後どうなっていったか、当代の他の文献で確かめていきたいと思ひます。『栄花物語』ではどう語られているかも挟み込むことにいたしました。『枕草子』の作者・清少納言を、紫式部はどう見ていたか、『紫式部日記』から紹介していきます。

以下、『枕草子』は因、『大鏡』は因、『栄花物語』は因というように、省略で示します。

- 第1回 因(280段)一雪景色から連想される唐詩
- 第2-3回 因(83段)一雪山を越の白山に見立てて楽しむ職の御曹司での日々/物乞いする女法師の芸を楽しむ/齋院から中宮定子に贈られた卯槌とお歌など/(『枕草子』で一番長い段)
- 第4回 因(道隆・151・152)伊周、和歌の序代を書く/隆家、道長に厚く遇される
- 第5回 因(6段)定子出産のための大進生昌邸への行啓
- 第6回 因(かがやく藤壺)(15)彰子の立后/(16)皇后定子の懐妊/(17)定子の内裏退出
- 第7回 因(道隆・153)一敦康親王(母・定子/隆家、甥)、立太子成らず/隆家の意地
- 第8回 因(道隆・155)一筑紫での隆家の政治/刀夷国の襲来/将門・純友のことなど
- 第9回 因(跋文)一『枕草子』書名のいわれ/『枕草子』書写者のことなど
- 第10回 『紫式部日記』(48)一和泉式部・赤染衛門・清少納言の批評

4月	27日
5月	11日、25日
6月	8日、22日
10月	5日、19日
11月	9日、30日
12月	14日

■単位数 2単位
■受講料 22,000円



テキスト 手作り資料をコピーして配付します。



参考書 新編日本古典文学全集『枕草子』『栄花物語』『大鏡』『紫式部日記』など

43

健康と運動の心理学

火曜日

13:05~14:35

講師



國學院大學
准教授
いとう ひでゆき
伊藤 英之

専門分野 スポーツ心理学

講座内容

運動は健康を保持増進するために欠かせないものとして知られています。しかし、健康とはどのようなものなのか?具体的にどのくらいの運動が必要なのか?ということについては、ちゃんと理解されていないのではないのでしょうか?また、運動をすることが心の健康にどのように影響しているのかや、生き生きとした毎日を過ごすための工夫なども、あまり知られていないのではないかと思います。本講義では、「運動」と「心理学」をキーワードに「健康」について理解していきましょう。

- 第1回 健康とは?
- 第2回 運動と健康
- 第3回 運動すると心が晴れる
- 第4回 心の健康を損なう原因
- 第5回 心の健康を保つコツ

4月	28日
5月	12日、26日
6月	9日、23日

■単位数 1単位
■受講料 11,000円



テキスト 資料を配付します

オープンカレッジ講座風景



▲神道を知る講座
神社参拝

遊べる日本美術講座▶



書道講座▶



▲万葉集を読む講座

オープン
カレッジ
特別講座

コーディネーター



國學院大學
教授・博士(宗教学)

いし い けん じ
石井 研士

専門 宗教学・
分野 宗教社会学

講座内容

人類の歴史を見ていると、ネアンデルタール人の時代から「死後の世界」に対する関心が存在したことがわかります。その後時代を経て様々な宗教が発生しましたが、どの宗教も「死後の世界」について言及しています。

ところで、現代日本に住む私たちは、特定の宗教に依拠することができず、死後の世界も曖昧です。私たちの理性は、天国や地獄といった世界を容易に信じることを拒否しています。それでも「いつかは死ぬ」わけですから、死後の世界が気にならないわけではありません。

世界の諸宗教がどのような死後の世界を描いてきたか、ネアンデルタール、クロマニヨン、ギリシャ・ローマ、ゾロアスター教、仏教、キリスト教、神道、そして現代日本の「よみがえり」について考えることで、よりよく生きる手がかりを探したいと思います。

第1回	イントロ：三つの「死者の書」から	國學院大學教授 石井 研士
第2回	天国、地獄と煉獄 -キリスト教の死後観-	東京大学名誉教授 鶴岡 賀雄
第3回	神道の幽冥観	國學院大學教授 松本 久史
第4回	輪廻と転生、解脱 -仏教における生死-	國學院大學名誉教授 宮元 啓一
第5回	現代における「よみがえり」	國學院大學教授 石井 研士

5月	29日
6月	12日
7月	10日
10月	9日
11月	13日

■単位数 なし
■受講料 11,000円

テキスト 資料を配付します

以下の項目についてご注意くださいようお願い申し上げます。

- レジュメの郵送は行っておりません。
- 前の時間の授業が終わるまで教室に入らないでください。
- 欠席のご連絡は必要ありません。

エクステンションセンターが主催する公開講座のご紹介

公開古典講座

- 「源氏物語」…『御法』巻を読む
(予定)
- 「萬葉集」…『巻十四』を読む
(予定)

昭和初期に開講した「萬葉講座」の流れを受け継ぎ、「古典文学の國學院」ならではの伝統に根ざした内容の夏季短期集中講座として受講者から強い支持を受けています。

本年度は、午前中に「源氏物語」、午後「萬葉集」の講座を開講いたします。

開催日 ■ 令和2年7月18日(土)～22日(水) (5日間集中講座)

会場 ■ 渋谷キャンパス

受講料 ■ 「萬葉集」「源氏物語」各講座とも 1日2,200円 4日以上は8,800円

◎オープンカレッジ会員は各講座5日間連続受講の場合5,500円

たまプラーザキャンパス公開講座(教養講座)

たまプラーザキャンパスが開校した昭和60年から毎年9月中旬に開催。地元横浜市をはじめ田園都市線沿線の地域住民の生涯学習に対するニーズを背景に、地域に根付いた教養講座として今ではすっかり定着しています。

開催日 ■ 令和2年9月15日(火)～17日(木) (3日間連続講座)

会場 ■ たまプラーザキャンパス

受講料 ■ 1日1,000円

詳細は、各講座とも6月中旬以降にお問い合わせください。

オープンカレッジご受講の方には、各講座リーフレットが出来上がり次第お送りいたします。

問合せ先 エクステンションセンター

TEL 03-5466-0270 FAX 03-5466-0394

e-mail jigyoun@kokugakuin.ac.jp ホームページ <http://www.kokugakuin.ac.jp>

國學院大學博物館のご紹介

開館時間 ■ 午前10時～午後6時(入館は午後5時30分まで)

ミュージアムショップは、午前10時30分～午後5時30分

開館日 ■ 通年(土・日・祝含む)

休館日 ■ 不定期(館内保守及び大学の定める休日)

※博物館ウェブサイトの開館カレンダーでご確認ください。

入館料 ■ 無料

問合せ先 ■ TEL: 03-5466-0359

URL: <http://museum.kokugakuin.ac.jp/>

ミュージアムショップにて、図録、展示関連書籍、オリジナルグッズなどを販売しています。

國學院大學博物館は、國學院大學が有する数々の学術資料や研究成果を発信する施設です。館内は、考古、神道、校史の3つの展示ゾーンと、さまざまなテーマによる研究成果を公開するための企画展示室で構成されています。展示場の総面積は約1600平米、およそテニスコート6面分の



の広さがあります。年間5～6回の企画展・特別展を開催しており、ミュージアムトークやワークショップも随時開催しています。

●國學院大學萬葉の花の会

平成5年、たまプラーザキャンパスに、國學院大學教職員有志が、約150種の萬葉集ゆかりの植物を植栽して、「萬葉の小径」を開設いたしました。植物を通して「萬葉集」に親しみ、「萬葉集」を通して日本の自然や文化を理解するため、広く一般の方々を対象に年1回、公開講座を開催しています。

開催時期 ■ 9月初旬

会場 ■ 國學院大學 たまプラーザキャンパス(予定)
詳細は、毎年7月頃決定となります)

会費 ■ ※資料代・通信費を含む。会費は変更になる場合があります。2,000円(学生1,500円)

萬葉弁当代 ■ 萬葉弁当代

※申込時の事前受付のみ 1,000円

発行物 ■ 萬葉の花ごよみ(カレンダー)

「萬葉の花の会」オリジナルカレンダーです。

萬葉の花が、12か月分12種類、季節ごとに鮮やかな写真で掲載されています。また、各月ごとに写真と関連した歌が添えられています。

毎年12月頃発行

※予約販売のみ(「萬葉の花の会」開催時に、予約を受け付けております)



植物で見る 万葉の世界(書籍)

万葉植物155種類を、季節ごとに分類し、それぞれに関わる歌と共に紹介しています。

國學院大學 渋谷ならびに横浜たまプラーザ両キャンパスの生協にて、取り扱っております。(一般書店等ではお取り扱いしておりません)

問合せ先

萬葉の花の会 幹事 大久保 規志
(國學院大學 神道研修事務課内)

TEL 03-5466-0892

FAX 03-5466-0163

國學院大學オープンカレッジ申し込み方法

受ける講座を決める

FAXの場合

受講申込書 (FAX用) に記入

ハガキの場合

受講申込書 (ハガキ) に記入

● 新規の方 → 入会金

● 受講料 → 会員区分ごとに違うので25ページで確認して記入

FAXの場合

受講申込書 (FAX用) を、エクステンションセンター宛にFAX (払込取扱票は切り離さない)

ハガキの場合

受講申込書 (ハガキ) に切手と個人情報保護シールを貼り発送

添付書類の提出が必要な方は同送

締切 3/23 (月)

受講申込書 (FAX用) の下半分 (払込取扱票) を切り取り、郵便局で振込 (手数料は自己負担)

受講許可証受領

順次エクステンションセンターより発送

受講

受講初日、指定された会場へ

→ 全講座先着順です。

- ◆定員のある講座について、定員超過で受講できない場合はご連絡を致します。
- ◆後期開講講座も一緒にお申し込みください。

→ FAXまたはハガキでお申し込みください。

各講座内容の
ページで確認

会員区分一覧表

会員区分	所 属	受講料	入会金	更新料	添付書類
1	一般	全 額	¥5,000	令和二年度より 更新制度を廃止します	
2	本学の科目等履修生	全 額	¥3,000		科目等履修生証の写し ※毎年度提出
3	本学の卒業生	全 額	¥3,000		
4	若木育成会会員	半 額	¥3,000		学生証の写し等 ※毎年度提出
5	本学学部・大学院学生・法人教職員	半 額	無 料		学生証の写し・他 ※毎年度提出
6	渋谷区・横浜市青葉区在住者	半 額	¥5,000		在住を証明するもの (免許証・健康保険証等の写し) ※入会時に提出
7	他校の学生(高校・大学・大学院)	半 額	¥3,000		学生証の写し ※毎年度提出

- ◆会員区分の併用はできません。
- ◆特別講座「死後の世界 -死ぬことと生きること-」のみご受講の方は、入会金は必要ありません。
- ◆会員区分6の方が居住の区から転出される場合は、必ずエクステンションセンターにご連絡下さい。

FAXの方…払込取扱票は切り離さず送信してください。切り離すと個人の識別ができません。

- ◆FAXの到着確認・入金の確認連絡は致しておりません。
- ◆大学が入金を確認した時点で申込完了です。
- ◆3月中旬受講許可証が到着するまでお待ちください。
- ◆新規の会員証は、受講許可証とともにお送りします。

**國學院大學
オープンカレッジ受講申込書 (FAX用)**

受付	入力	入金	備考

希望講座名 申込日：令和 2 年 月 日

講座番号	講座名	受講料
01	神道を知る講座	22,000 円
15	民族伝承学から日本文化を読む(一)	11,000 円
16	民族伝承学から日本文化を読む(二)	11,000 円
		円
		円

新規ご入会の方 ➡

入会金	円
合計	44,000 円

*入会金は、P25「会員区分一覧」でご確認ください

●新規ご入会の方で、ご紹介者(オープンカレッジ現会員)がいいらっしゃる場合ご記入をお願いします

紹介者氏名	紹介者 会員番号								
-------	-------------	--	--	--	--	--	--	--	--

- このページを切り取り、添付書類と共に直接FAXしてください。*払込取扱票切取前にFAXしてください。
FAXで申し込まれた方は、巻末のはがきを送る必要はありません。
- 受講申込書受理の連絡はいたしませんので、申し込み後直ちに受講料等をお振込ください。
- 申し込みの手順はP24, 25「申し込み方法」をご覧ください。

FAX 03-5466-0394

下半分を切り離す前にFAXしてください

申込記入例

全て記入し、FAXしてから郵便局に行ってください。

入会金は新規の方のみです。

紹介者がいらっしゃる場合はご記入ください。

下半分を切り取らずにFAXしてください。表と裏を確認してください。会員区分1・3以外の方は添付書類もFAXしてください。

オープンカレッジ会員の方は会員番号(8桁)を記入、新規の方は新規に○を付けてください。

急な連絡のために必要となりますので携帯電話をお持ちの方は併せてご記入ください。

同姓同名の方がいらっしゃいますのでご記入ください。

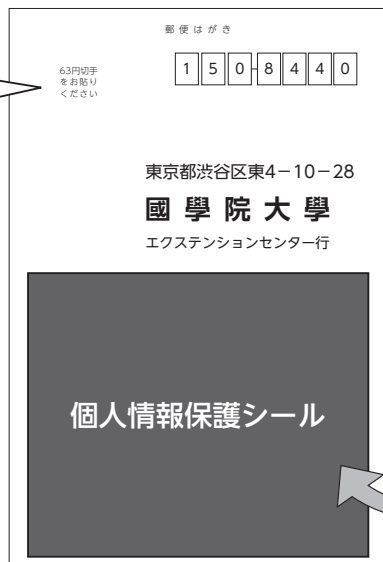
今年度から保険に加入しませんので必要な方はお問合せください。

00 東京		払込取扱票		振替払込請求書兼受領証	
口座記号番号	金額	千	百	十	万
001605	¥44000				
國學院大學エクステンションセンター		料	金	備	考
*オープンカレッジ		切り取らないうちにお出しください。			
会員番号	新規	19	×	×	×
会員区分	1・2・3・4・5・6・7	この受領証は、大切に保管してください。			
〒150-××××	住所	東京都渋谷区××町1丁目○○番地			
フリガナ	コナガタ	タロウ	日附印		
氏名	國學 太郎		日附印		
TEL	03-××××-×××× (090-××××-××××)		日附印		
生年月日	大正・昭和・平成 年 月 日生		日附印		
裏面の注意事項をお読みください。(ゆうちょ銀行) (承認番号東第55517号) これより下部には何も記入しないでください。					

加入者名ご依頼人について記載してください

この受領証は、大切に保管してください。

63円切手を貼って投函してください



個人情報保護シール

必要事項をお書きになりましたら、添付のシールをはがし、はがき宛名面の個人情報欄に貼ってください。

※シールは1度貼ると貼り直しできません。



國學院大學 オープンカレッジ受講申込書 (FAX用)

受付	入力	入金	備考

希望講座名

申込日：令和 2 年 月 日

講座番号	講座名	受講料
		円
		円
		円
		円
		円
新規ご入会の方 ➡		入会金
		円
		合計
		円

※入会金は、P25「会員区分一覧」でご確認ください

●新規ご入会の方で、ご紹介者(オープンカレッジ現会員)がいいらっしゃる場合ご記入をお願いします

紹介者氏名		紹介者 会員番号							
-------	--	-------------	--	--	--	--	--	--	--

- このページを切り取り、添付書類と共に直接FAXしてください。 *払込取扱票切取前にFAXしてください。
FAXで申し込まれた方は、巻末のはがきを送る必要はありません。
- 受講申込書受理の連絡はいたしませんので、申し込み後直ちに受講料等をお振込ください。
- 申し込みの手順はP24, 25「申し込み方法」をご覧ください。

FAX 03-5466-0394

下半分を切り離す前にFAXしてください

00	東京	払 込 取 扱 票																
口座記号番号										金額	千	百	十	万	千	百	十	円
0	0	1	6	0	5	6	0	3	4	0	1	※						
加入者名 國學院大學エクステンションセンター										料金	備考							
※ オープンカレッジ																		
会員番号 新規										会員区分 1・2・3・4・5・6・7								
〒 住所																		
フリガナ 氏名																		
TEL																		
生年月日 大正・昭和・平成 年 月 日生																		

各票の※印欄は、ご依頼人において記載してください。

裏面の注意事項をお読みください。(ゆうちょ銀行) (承認番号東第55517号)
これより下部には何も記入しないでください。

振替払込請求書兼受領証

口座記号番号	0	0	1	6	0	5		
加入者名	國學院大學エクステンションセンター							
金額	千	百	十	万	千	百	十	円
ご依頼人	おなまえ						様	
料金	(消費税込み)						日 附 印	
	円							
備考								

記載事項を訂正した場合は、その箇所に訂正印を押ししてください。
切り取らないでお出しください。

この受領証は、大切に保管してください。

下を切り離さずFAXしてください。

表と裏の向き (送信面) は合っていますか？

(ご注意)

- ・この用紙は、機械で処理しますので、金額を記入する際は、枠内にはっきりと記入してください。また、本票を汚したり、折り曲げたりしないでください。
- ・この用紙は、ゆうちょ銀行又は郵便局の払込機能付きATMでもご利用いただけます。
- ・この払込書を、ゆうちょ銀行又は郵便局の渉外員にお預けになるときは、引換えに預り証を必ずお受け取りください。
- ・この用紙による、払込料金は、ご依頼様が負担することとなります。
- ・ご依頼様からご提出いただきました払込書に記載されたおところ、おなまえ等は、加入者様に通知されます。
- ・この受領証は、払込みの証拠となるものですから大切に保管してください。



この場所には、何も記載しないでください。

渋谷キャンパス



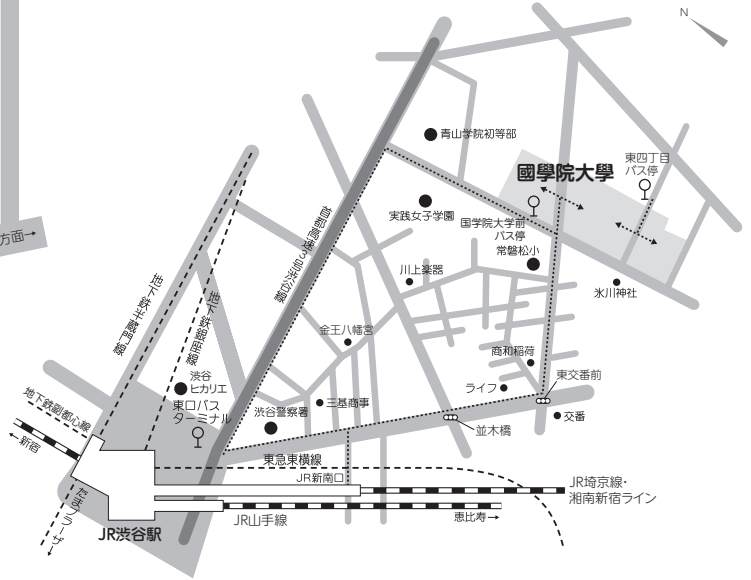
案内図

所在地

●〒150-8440 東京都渋谷区東4-10-28

交通アクセス

- 渋谷駅(JR山手線・地下鉄・京王井の頭線・東急各線)から徒歩約13分
- 渋谷駅(JR埼京線・湘南新宿ライン) 新南口から徒歩約10分
- 都営バス(渋谷駅東口54番のりば) 学03日赤医療センター前行
「国学院大学前」または「東四丁目」下車(運賃180円) IC178円



たまプラーザキャンパス

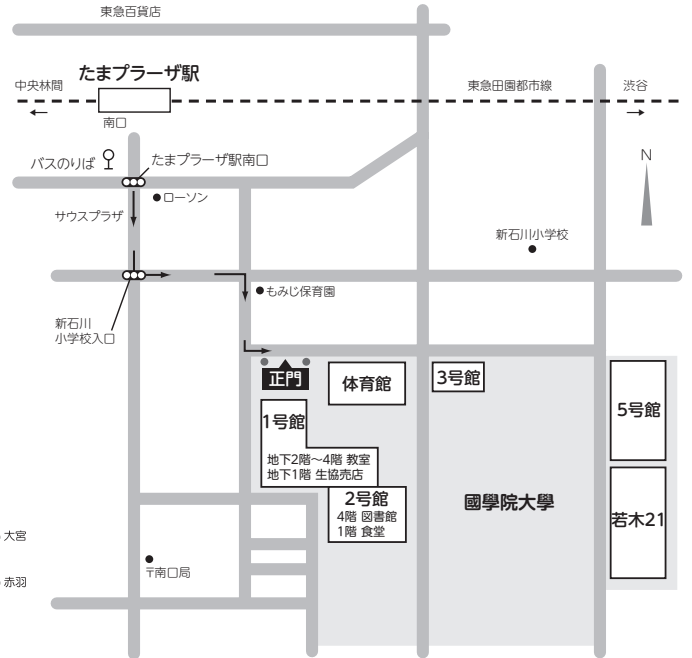
案内図

所在地

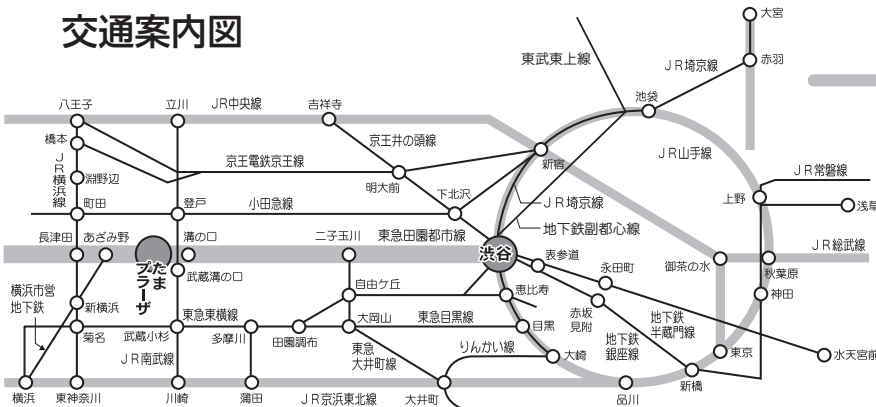
●〒225-0003 神奈川県横浜市青葉区新石川3-22-1

交通アクセス

- 渋谷駅から東急田園都市線たまプラーザ駅まで約25分
- 横浜駅から市営地下鉄ブルーライン終点あざみ野駅で東急田園都市線(渋谷方面行)に乗換え、たまプラーザ駅まで約30分
たまプラーザ駅・南口から徒歩約5分



交通案内図





エクステンションセンター

〒150-8440 東京都渋谷区東4-10-28

T E L 03-5466-0270

F A X 03-5466-0394

U R L <http://www.kokugakuin.ac.jp>

e-mail jigyou@kokugakuin.ac.jp

もっと日本を。もっと世界へ。



KOKUGAKUIN Univ.

國學院大學